

ASEAN人造りプロジェクト  
インドネシア共和国  
職業訓練指導員・  
小規模工業普及員養成センター  
(CEVEST)  
実施協議チーム報告書

昭和58年6月

国際協力事業団



ASEAN人造りプロジェクト  
インドネシア共和国  
職業訓練指導員・  
小規模工業普及員養成センター  
(CEVEST)  
実施協議チーム報告書

昭和58年6月

JICA LIBRARY



1014406E13

国際協力事業団

国際協力事業団

受入 月日 '84. 5. 17	108
	213
登録No. 10274	SDC

## はじめに

今回、本実施協議チームの「討議議事録(R/D)」署名により、「インドネシア職業訓練指導員・小規模工業普及員養成センター(CEVEST)」に対する技術協力が開始されることとなった。本センターは、昭和56年1月鈴木元総理がASEAN諸国歴訪中に提唱したASEAN人造りプロジェクトの一つであり、ASEAN人造りプロジェクトは、国造りの基礎は人造りにあるとの基本認識の下に、ASEAN各国に一つずつ人造りのためのセンターを建設しようとするものである。日本側の協力としては総経費1億ドル(約200億円)をかけ、各国センターに対し、約40億円をもって無償資金協力(建物建設及び主要機材の供与)及び技術協力(専門家派遣、研修員受入及び補足的機材の供与)を行うものである。

インドネシアに関しては、昭和56年4月に開催された日/ASEAN第1回準備会合の後、同年6月にCEVESTの設置につき協力要請がなされた。その後同年8月第1次予備調査団が派遣され、10月の第2回日/ASEAN準備会合を経てプロジェクトの実施につき基本的合意がなされた。引き続き56年11月には第2次予備調査団、57年10月には事前調査団が派遣され、技術協力の大枠が固まった。

国際協力事業団は、これらの調査・協議を踏まえ昭和58年1月無償資金協力実施にかかる基本設計チームを派遣するとともに、同年2月実施協議チームを派遣し、技術協力実施にかかる基本的事項を「討議議事録(R/D)」にとりまとめ、先方実施機関との間でこれに署名した。

本報告書は実施協議チームがインドネシア側関係者と協議した内容及び協力開始に先だつ最終的な合意事項をとりまとめたものである。

インドネシアの第3次及び第4次開発5カ年計画の期間においては、国民の技能の向上及び小規模企業の開発による雇用の創出を1つの重要な国策として位置づけているが、本CEVESTの活動を通じ、これら政策を推進する優秀な人材が数多く育成され「イ」国の国造りに大きく貢献することを切に願うものである。本報告書が、こうしたCEVESTプロジェクトの今後の活動に一つの指針を示すことができれば幸いである。

本プロジェクトは、今回のR/Dの署名によりいよいよ実施段階に入るが、この場をかり、数度にわたる現地調査及び協議に御協力いただいたインドネシア側関係者及び在インドネシア日本大使館をはじめとする現地日本人関係者に対し深じんなる謝意を表するとともに、種々のチームの派遣及び国内作業において多大なる御支援をいただいた外務省、労働省、通産省等の国内関係者各位に厚くお礼を申し上げる次第である。

昭和58年6月

国際協力事業団

理事 中澤 式 仁      理事 久留 義 雄



R/D署名



(中央が江田団長、右側がダナン労働移住省労働力開発  
利用総局長、左側がギト・セオヨ工業省小規模工業総  
局長)



全体会議  
(日本側出席者)

全体会議  
(インドネシア側出席者)







ブカンのプロジェクト・サイトにて



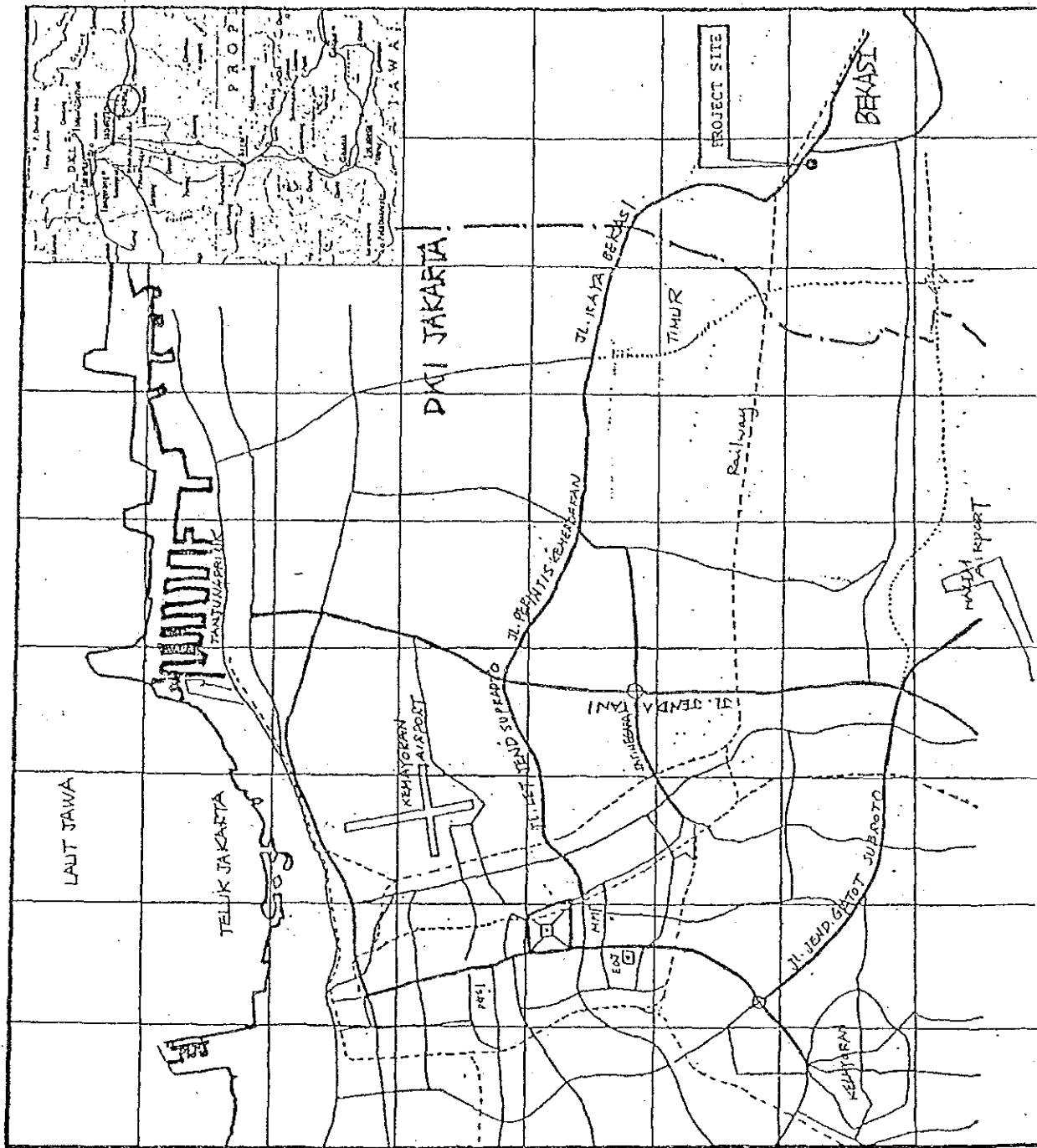
(右側がアブリスマン  
訓練システム部長)

小規模工業普及員養生研修修了生  
(2月14日工業省にて行われた  
修了式)





建設予定地位置図





# 目 次

はじめに	
I. プロジェクト概要	1
II. 実施協議チーム派遣の経緯	5
III. 実施協議チームの構成	7
IV. 調査・協議日程	8
V. 調査・交渉方針	11
1. 実施協議チーム対処方針	11
2. 討議議事録に関する詳細交渉方針	11
VI. 調査・交渉の経緯及び結果	19
1. 調査・交渉結果概要	19
2. 討議議事録に関する調査・交渉	22
3. 暫定実施計画その他に関する調査・交渉	60
VII. 討議議事録 ( R / D : Record of Discussions )	61
VIII. 暫定実施計画 ( T S I : Tentative Schedule of Implementation )	89
IX. 技術協カスケジュール及び C E V E S T 運営管理体制 ( 参考 )	101
1. 技術協カスケジュール	101
2. C E V E S T 運営管理体制及びスタッフ配置計画	103
X. 資 料	107
1. 団長挨拶 ( R / D 署名に際して )	109
2. 新聞発表 ( プレス・リリース )	111



## I. プロジェクト概要

### 〔目的〕

インドネシア政府は、第3次及び第4次開発5カ年計画期間（PELITA III：1979～1983年度、PELITA IV：1984～1989年）において、最重要国策の一つとして位置づけられている国民の技能の向上を図るため、職業訓練施設を大幅に増設拡充する計画を持っており、そのため大量の職業訓練指導員の養成が必要とされている。

また同計画における工業開発の重点政策は、弱い経済層をなす小規模工業の発展及び企業数の拡大であり、小規模工業開発の重要施策の一つとして小規模工業指導開発計画（BIPIK計画）がある。このBIPIK推進の直接の担い手となるのが、金融・経営・市場開拓・生産・技術等について巡回指導を行う小規模工業普及員であり、このため質の高い普及員を効率的に養成することが急務となっている。

こうした背景から「イ」国政府はASEAN人造りプロジェクトの一つとして、「職業訓練指導員・小規模工業普及員養成センター」（CEVEST：Center for Vocational and Extension Service Training）の設置を提唱した。本プロジェクトは当該センターの設置・運営に関し、必要な技術協力を行うことを目的とする。

本センターのうち職業訓練部門は「イ」国職業訓練指導員養成のナショナル・センターであると共に職業訓練校長の訓練、事業内職業訓練指導員等の訓練及び職業訓練分野の研究開発等の機能を有している。また小規模工業部門は小規模工業普及員養成の中核的センターであると共に、小規模工業に関する基礎的調査・研究及び指導・相談事業を行い小規模工業振興の中核的機関となる。この両部門を併せ本センターはインドネシア国における職業訓練システム及び小規模工業普及システムの拡大と改善を担う人材の開発に貢献することとなっている。更にASEAN人造りプロジェクトの一環として、職業訓練及び小規模工業普及の技法の普及を通じてASEAN諸国間の協力が促進強化されることが期待されている。

【センターの活動内容】

1. 職業訓練部門

(1) 職業訓練

系	コース 訓練科	指導員養成訓練		指導員向上・再訓練			校長 訓練	事業内 指導員 等訓練			
		タイプⅠ	タイプⅡ	アシスタント・インストラクター ↓ ジュニア・インストラクター	ジュニア・インストラクター ↓ インストラクター	インストラクター ↓ シニア・インストラクター					
機械	機械	20		15	11	8					
金属加工	溶接	20		15	11	8					
	板金・配管	10		7	5	4					
自動車	自動車修理	45		33	24	18					
電気	電気	20		15	11	8					
	電子	30		22	16	12					
合計（年間定員）		145		230	107	78			58	120	400
備考	訓練期間	2年		4ヶ月	3ヶ月	3ヶ月			3ヶ月	2ヶ月	1~2週間又はそれ以上
	回数	年1回		年3回	年1回	年1回			年1回	年数回	年20回程度
	資格	高卒2年以上の実務経験又はアカデミー卒		職種に関する十分な知識・技能	アシスタント・インストラクターとして実務経験5年以上	ジュニア・インストラクターとして実務経験5年以上			インストラクターとして実務経験5年以上	現校長又は校長予定者	事業内の指導員等
	その他		指導技法のみ								

(2) 研究開発事業

- ① 指導技法及び訓練カリキュラム・プログラムの基準に関する研究開発
- ② 訓練教材に関する研究開発
- ③ 技能評価・検定に関する研究開発
- ④ 基礎研究



## 2. 小規模工業部門

### (1) 研修事業

研修コース	研修規模	研修期間	年間開講回数	研修対象者	研修内容	
普及 員 (T P L)	TPLジェネラリスト 養成コース	30~35名	2ヶ月間	3コース	高位卒業、アカデミー スクール、大学卒業者 もしくは同程度の学力 を有する者。	(1) 普及員としての義務 (2日間) (2) 普及技術の基礎知識 (9日間) (3) 経理・人事管理 (29日間) (4) フィールド調査 (10日間) (5) その他
	TPLスペシャリスト (ファンクショナル) 養成コース	30~35名	3ヶ月間	10~12 コース	TPLとして、2年程 度の経験を有する者、 もしくは同程度の実力 を有する者。	(1) 中小企業経営の実務研究 (20日間) (2) 中小企業における財務計画 (35日間) (3) 品質管理、生産管理(フィールド業務を 含む) (20日間)
	トレーナー養成コース	30~35名	4ヶ月間	3~4コース	TPLスペシャリスト として、2年を超える 経験を有する者もしくは は同程度の実力を有す る者。	(1) 経営計画及び関連情報の利用方法 (42日間) (2) 工業部門における指導技術 (3) マーケティング戦略 (13日間) (4) 指導技術及び現地訓練 (15日間)
そ の 他	企業家コース	30名	3~4週間	20コース	企業家	(1) 企業家意識の高揚 (2) 工業部門における社会・経済状況 (3) 企業家に必要な基礎、実務知識 (4) 在庫管理、製品戦略 (5) マーケティング技術 (6) 人事管理、リーダーシップについて
施政関係者コース		必要事項に関する講義研修 (必要が生じた場合開講)				

### (2) 調査・研究事業

インドネシア小規模企業の経営管理、生産動向、流通問題等について調査研究し、研修事業及び指導相談事業に实际的資料を提供すると共に、小規模工業の直面する問題点解決の方向を探る。

当面、CEVESTでは次の調査の実施が考えられている。

- a. 小規模工業生産動向調査
- b. 小規模工業生産技術調査
- c. 小規模工業製品流通調査
- d. 小規模工業製品需要動向調査

(3) 指導・相談事業

Extension Service 活動を円滑かつ効率的に実施するため、同活動を多角的に支援すると共に、小規模工業者の意識高揚を促進するための様々の事業を総合的に実施する。

- a. クラスター診断及び個別企業者に対する相談活動
- b. 小規模企業者に対するセミナー・シンポジウムの実施
- c. 普及員の活動要領の作成・改訂
- d. 普及員に対する指導相談活動及び下請モデル企業の育成

【協力期間】

昭和58年2月16日～昭和63年2月15日（5年間）

## II. 実施協議チーム派遣の経緯

ASEAN 人造りプロジェクトは、昭和56年1月、ASEAN 諸国歴訪中に鈴木元総理によって提唱されたものであり、国造りの基礎は人造りであるとの認識の下に、ASEAN 各国に一つずつ人造りのためのセンターを建設しようとするものである。本講想の枠組の中で、インドネシアのプロジェクトとして提案された「職業訓練指導員・小規模工業普及員養成センター」(CEVEST: Center for Vocational and Extension Service Training) は、下記の経緯の中で、その具体化のための準備作業が進められてきた。

1. ASEAN 人造りプロジェクト第1回準備会合(東京;昭和56年3月31日~4月1日)
  - 我が国から、本講想の基本的枠組について、説明
  - 各国から、各々のプロジェクト要請内容を提示
  - 具体化に向けての準備
2. ASEAN 常任委員会(マニラ;昭和56年5月18日)
  - 各国プロジェクトについて、我が国との二国間協力ベースにより行うこと、及び
  - プロジェクトの実施について、各々準備が完了次第取り進めることを決定
3. コンタクトミッション(昭和56年6月)
  - 「イ」国政府より、職業訓練指導員及び小規模工業普及員の養成を目的とする人造りセンターの設置を要請
4. 第1次予備調査(昭和56年8月18日~8月22日)
  - 要請内容の行政面からの明確化
  - 要請の妥当性と協力可能性の調査
5. ASEAN 人造りプロジェクト第2回準備会合(ジャカルタ;昭和56年10月6日~10月7日)
  - 各国のプロジェクトに関する基本的合意
  - 沖縄に国際センターを設置することの了承
  - 今後のASEAN 運営委員会による日本側との随時会合
  - 今後の手続きについての合意
    - ・ 二国間交渉でつめを行うこと
    - ・ 調査団派遣

- ・プロジェクト実施時期
- ・協力期間を5～7年とすること

6. 第2次予備調査〔職業訓練部門〕（昭和56年11月30日～12月20日）

〔小規模工業部門〕（昭和56年11月30日～12月13日）

- 要請内容の技術的側面からの調査
- 第1次予備調査のフォロー・アップ  
（第2次予備調査報告書参照）

7. 事前調査（昭和57年10月5日～10月19日）

- 技術協力の内容の大枠についての確認
- 行政的，技術的側面からの補足的調査  
（事前調査報告書参照）

以上の準備調査・作業を経て，今回，インドネシアにおける ASEAN 人造りプロジェクト（CEVEST）に関する我が国の技術協力の内容について最終の確認を行うとともに，今後プロジェクトを遅滞なく進行させる上で両国が取るべき措置，責任を明確にし，討議議事録の署名をもって，本プロジェクトに関する二国間の協力を開始すべく実施協議チームが派遣されたものである。

### Ⅲ. 実施協議チームの構成

団 長	江 田 茂	労働省統計情報部長
技 術 協 力	井 上 進	外務省経済協力局技術協力第二課
業 務 調 整	植 原 康 之	国際協力事業団社会開発協力部海外センター課
”	橋 本 忠 夫	国際協力事業団鉄工業開発協力部鉄工業開発技術課

#### 〔 職業訓練部門 〕

技 術 協 力	長 江 盛 啓	労働省大臣官房国際労働課国際渉外専門官
研 究 開 発	沢 田 康 伸	労働省職業訓練局海外技術協力室協力第一係長
技 術 一 般	鈴 木 弘 道	労働省職業訓練局指導課基準第二係長

#### 〔 小規模工業部門 〕

中小企業振興政策	岸 田 房 江	通商産業省中小企業庁指導部取引流通課
技術協力計画	小 紫 正 樹	通商産業省通商政策局経済協力部経済協力課
中小工業技術一般	溝 上 芳 史	(社) 海外コンサルティング企業協会

## Ⅳ. 調 査 ・ 協 議 日 程

日順	月日	曜日	時 間	場 所	内 容	「日」側出席者	「イ」側出席者
1	2/8	火	11:00~21:10	東京→ジャカルタ	移動 (CX501 CX701)	全団員	
			22:35~23:10	プレジデントホテル	団内打合せ (協議・行動予定)	全団員 ⑤田中・木村書記官	
2	2/9	水	9:00~9:30	JICA事務所	挨拶	全団員 ⑤田中書記官 ①宮本所長, 猪俣・杉原所員	
			9:40~10:00	大使館	挨拶・打合せ	全団員 ⑤藪中・田中書記官	
			10:30~11:30	JICA事務所	打合せ (対処方針, R/D原案, 日程)	全団員 ⑤田中書記官 ①宮本所長, 猪俣所員	
			14:00~15:40	労働移住省	全体会議 (挨拶, 協議方 法, 日程)	全団員 ⑤田中書記官	⑦ダナン労働力開発利用総局長, アプリスマン訓練システム部長, クスマルトノ, サムスディン ①ジョコ・モリアント企業経営局長, マハディ研修課長, 他
			17:10~17:50	プレジデントホテル	団内打合せ	全団員	
3	2/10	木	9:15~13:10	労働移住省	合同協議 (協議詳細日程 R/D)	全団員 ⑤田中書記官	⑦ジョコ・ウトヨ国際協力課長, アファンディ訓練教材開発部長, サムスディン, 他 ①ジョコ・モリアント企業経営局長, マハディ研修課長, 他
			14:30~15:30	JICA事務所	報告・打合せ	江田部長, 井上 ①宮本所長, 他	
			14:30~16:30	労働移住省 工業省	個別協議 (R/D, TSI) 同上	長江, 沢田, 鈴木, 植原 ⑤田中書記官 岸田, 小紫, 溝上, 橋本 西専門家	⑦アプリスマン, ジョコ・ウトヨ, クスマルトノ, サムスディン ①ジョコ・モリアント, マハディ, マンジン, 他
			17:00~18:15	プレジデントホテル	団内打合せ	全団員	
			19:00~21:00	ホテルサヒッドジャヤ内ミナス	中村公使主催 夕食会	全団員 ⑤中村公使, 藪中・木村・田中書記官 ①宮本所長, 猪俣・杉原所員	
4	2/11	金	9:00~12:00	労働移住省	合同協議 (R/D)	全団員 ⑤田中書記官	⑦アプリスマン, ジョコ・ウトヨ, アファンディ, クスマルトノ, サムスディン ①ジョコ・モリアント, マハディ, マンジン

日順	月日	曜日	時 間	場 所	内 容	「日」側出席者	「イ」側出席者
			14:00~16:00	プカシ市 CEVESTサイト	サイト視察	全団員	㊸アブリスマン、他
5	2/12	土	9:00~10:40	労働移住省	合同協議 (R/D)	全団員 ㊸田中書記官	㊸アブリスマン、ジョコー・ウトヨ、アフアンディ、クスマルトノ、サムスディン ①ジョコ・モリアント、マハディ、他
			10:40~13:00	労働移住省	個別協議 (TSI, スタッフ フィンダ・プラン)	江田団長、井上、長江、沢田、鈴木 ㊸田中書記官	㊸アブリスマン、ジョコー・ウトヨ、アフアンディ、クスマルトノ
				工業省	同上	岸田、小紫、溝上、橋本 西専門家	㊸シャリフ、マハディ、他
			12:30~13:00	JICA事務所	報告・打合せ	江田団長、井上 ④宮本所長、他	
			18:00~20:00	田中書記官宅	田中書記官主催 夕食会	全団員	
6	2/13	日			休養 団内打合せ		
	2/14	月	9:10~11:00	労働移住省	個別協議 (R/D, TSI)	長江、沢田、鈴木、植原	㊸ジョコー・ウトヨ、アフアンディ、クスマルトノ、サムスディン ①ジョコ・モリアント、マハディ、マンジン
				同上	同上	岸田、小紫、溝上、橋本	
				プレジデントホテル	団内打合せ (公電)	江田団長、井上	
			11:00~11:20	大使館	大使表敬	江田団長、長江、岸田、植原 ㊸山崎大使、他	
			14:15~16:20	工業省	合同協議 (R/D)	全団員 ㊸田中書記官	㊸ジョコー・ウトヨ、クスマルトノ、サムスディン ①マハディ、シャリフ、マンジン、他
			25:00~25:30	プレジデントホテル	団内打合せ	全団員	
25:30~28:00	プレジデントホテル	団内作業 (プレス・リリース)	井上、植原、橋本、長江、沢田、鈴木、小紫				
7	2/15	火	10:00~12:00	労働移住省	打合せ (プレス・リリース)	江田団長、井上、長江、小紫、植原	㊸アブリスマン、ジョコー・ウトヨ ①ジョコ・モリアント、マハディン
			9:00~12:00	ホテルインドネシア サリナデパート	団内作業 (R/D, タイプ、コピー、 インディグ)	沢田、橋本	

日順	月日	曜日	時 間	場 所	内 容	「日」側出席者	「イ」側出席者
			12:30~14:00	ホテルサリバンフ イック	団長主催昼食会	全団員	㊦アブリスマン, ジョコー・ ウトヨ, 他 ㊧ジョコ・モリアント, マヘディ, 他
			15:20~15:40	ASEAN インド ネシア国内事務局	ASEAN インド ネシア国内事 務局長表敬	江田団長, 井上, 長江, 沢田 ㊨篠中・田中書記官	
			22:30~26:00	プレジデントホテル	団内作業	全団員	
8	2/16	水	9:30~10:00	プレジデントホテル	団内打合せ	全団員	
			10:30~11:45	工業省	R/D署名	全団員 ㊩田中書記官 ㊪宮本所長, 他	㊦ダナン, アブリスマン, ジョコー・ウトヨ, 他 ㊫ギト・セオヨ, ジョコ・ モリアント, シャリフ他
			12:00~12:45	大使館	プレス・リリ ース	江田団長, 井上, 長江, 沢 田, 小紫, 植原, 橋本 ㊭田中書記官	
			13:00~14:30	ホテルボロブドゥ ール内トバ・ロッ ティセリエ	ギトセオヨ小規 模工業総局長主 催昼食会	全団員	㊬ギトセオヨ総局長, シャ リフ外事部長, マヘディ 他
			15:00~15:30	工業省	スフード工業大臣 表敬	江田団長, 井上, 長江, 植 原, 沢田, 鈴木, 小紫, 橋 上, 橋本	
				ホテルプレジデント →ホテルサリバンフイ ック	移動		
			19:00~21:00	レストラン・セナ ヤン	ダナン労働力開 発利用総局長主 催夕食会	全団員 ㊯宮本所長, 他	㊮ダナン総局長, 他
9	2/17	木	8:00~21:15	ジャカルタ→東京	移動 (CX710) (CX500)	全団員	



## V. 調査・交渉方針

### 1. 実施協議チーム対処方針

調査・交渉に当っては、次に示す「実施協議チーム対処方針」をもって臨むこととし、特に「イ」側から要請の強かった追加ワークショップ問題については、対処方針3の(2)のとおり対処することとした。なお、事前調査までに詰めた協力計画については原則的変更なしの方針で対処することとした。

### 1. 実施協議チーム対処方針

- (1) 昨年行った事前調査の結果を踏まえ、わが方にて作成した技術協力計画案に基づき、「イ」側政府関係機関との協議を行い、これをR/Dにとりまとめて署名し、本件プロジェクトを実施段階に移す。
- (2) わが方技術協力の年度別スケジュール及び「イ」側負担に係る実施スケジュールについては、R/Dとは別に Tentative Schedule of Implementation ( T. S. I. ) を作成する。T. S. I. には実施協議チームの団長及び労働移住省、工業省各々のR/D署名者がR/D署名の際に併せて署名する。
- (3)① わが国の無償資金協力によって建設する CEVEST の建物総面積は12,000 m<sup>2</sup>とする。  
② 「イ」労働移住省より要請のあった空の Workshop の追加建設については、現在の施設面積を更に切りつめれば、昨年の事前調査の際双方で合意した技術協力計画案に相当な無理を生ずるので、右要請に応じることは極めて困難である旨先方に説明する。但し、本来わが方は「イ」側の要請に応じ協力する立場にあるので、議論を尽くした結果、先方があくまで固執する場合は本省に請訓した上で対処方針を決定することとする。
- (4) 調査項目
  - ① 「イ」側カウンターパート、訓練生、スタッフ確保の見通し
  - ② ローカルコスト負担に係る「イ」側予算措置の再確認（労働移住省、工業省の分担、予算の流れ、etc.）
  - ③ Board of Directors の権能、構成及び合同運営委員会との関係に関する「イ」側考え方の確認
  - ④ 長期専門家派遣時期に関する「イ」側意向の確認及び建物完成までの間、専門家に供与されるべき事務所確保の見通し
  - ⑤ 専門家に対する住宅提供、特権免除等の「イ」側の講ずるべき措置

### 2. 討議議事録に関する詳細交渉方針

- (1) 本文

① ジャカルタミニッツ（第2回準備会合）との関連

{ ジャカルタミニッツ }

17. The Project is under the umbrella of the ASEAN-Japan cooperation programme.

18. The implementation of the various national projects under the projects will be executed in accordance with bilateral arrangements between the ASEAN member countries concerned and the Government of Japan.

② 署名者

事前調査の際「イ」側より署名者のタイトルを「Chief Negotiator」とするよう強い要請があり、わが方は最終的にはこれに同意した経緯があるが、R/Dの署名者のタイトルはあくまでも実施協議チームの団長及び「イ」側両総局長とする。

（「イ」側が附属文書の各ページにもイニシャルすることを要望するときはその求めに応じることとする）

(2) 附属文書

I. Cooperation Between Both Governments

1. 協力目的

① インドネシア国の社会経済開発に如何に資するか。

② ASEAN 人造りプロジェクトの特長

地域プロジェクトであること。（第三国研修を当初から予定している）

2. マスタープランに対する言及

II. Dispatch of Japanese Experts

1. 日本側の負担による専門家派遣

① 「laws and regulations」には予算措置も含まれる。

② 「normal procedures」とはA1, B1 フォーム及び口上書の交換を意味する。

2. 専門家に対する特権免除及び便宜供与

① コロンボ計画加盟国の場合には、それぞれ相手国において、コロンボ計画に基く特権免除及び便宜に関する規定を有しているので、その保証を担保する。

{ タイ「人口家族」の例 }

2. The Japanese experts referred to in 1 above their families will be granted in Thailand the privileges, exemptions and benefits no less favourable than those accorded to experts of third countries working in Thailand under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.

② インドネシアはコロンボプランには加盟しているが、専門家に対する特権免除の項は留保しているので、専門家の受入条件として、第三国等から派遣されている専門家に対して実施されている特権免除、便宜より不利でないものを保証せしめることが必

要となる。

特に、所得税等の免除、身廻品、家材に対する国税等の免除、車輛（1台）購入に係る免税、無料の医療便宜の4点につき、専門家の特権免除、便宜を確保することが必要である。無料の医療便宜については、困難であれば削除しても差しつかえない。

### III. Provisions of Machinery and Equipment

1. ① 供与機材の範囲については、技術移転に直接必要とする機材を日本側が負担することが原則である。

従って、通常現地での調達が可能で備品、消耗品等及び協力終了後の代替機材、スペア・パーツ等は相手国負担が原則である。＜（V1）、1.(2)参照＞

なお、ここに機材という場合、日本人専門家が赴任する際、JICAが購入し、専門家が携行する機材（いわゆる携行機材）も含まれる。

- ② 機材は大きく分けて無償資金協力による供与機材（Major portion of the Equipment）と、技術協力による供与機材（Small portion of the Equipment）の2種類がある。

2. ① 技術協力による供与機材に関する日本側負担は、CIF建、即ち、日本国内での機材購入費、相手国陸揚げ地までの輸送費及び日本から船積された時より（正確には日本国内のJICAが指定する保税倉庫から）相手国プロジェクト・サイトにおいて機材が開梱されるまで、もしくは、相手国に陸揚げされた時点より一定期間までの付保費用である。

従って、原則的には機材の相手国陸揚げ以降の費用（陸揚げ地における保管費、相手国通関諸費及びプロジェクト・サイトまでの輸送費等）は相手国負担になる。

- ② 無償資金協力による本プロジェクトの供与機材は据付けまでが日本側の負担となる。（但し、本件については、基本設計サイドの問題であるので、R/Dチームは原則として言及しないこととする。）
- ③ 供与機材が当該プロジェクト以外に無断転用されることの禁止。

“utilized exclusively for the implementation of the project in consultation with the Japanese experts” という表現について、“exclusively” と “in consultation with the Japanese experts” を併記する必要を認めない国もあるが、前者は当該プロジェクト以外への転用を禁止するものであり、後者はプロジェクト内において供与機材の効果的な運用を特に意図するものであるため、両者共、併記することがのぞましい。

### IV. Training of Indonesian Personnel in Japan

1. ① 日本側が技術研修のため受入れる相手国スタッフの範囲については、プロジェクトの実施に直接関係する相手国実施機関のスタッフが中心となるが、それ以外に当該プ

プロジェクトを監督し、当該プロジェクトの運営に責任を有する上部機関等のスタッフも含まれる。

② 本件プロジェクトの58年度研修員受入れ枠として15名要請してあるが、最終的に受入れ枠が決定するのは、本年度末であるため、「イ」側に対し具体的な人数を提示することはできない。

2. 過去の事例をみた場合、プロジェクト運営の核となる相手国スタッフ（日本人専門家のカウンターパート）が日本での技術研修の終了後、短期間に人事異動、民間又は外国への流出（頭脳流出）の例が多い。

いわゆるカウンターパートの定着性の問題があり、協力プロジェクトの効率的運営が阻害されることとなる。

従って、<sup>相</sup>相手国政府が基本的にこれらの現象を阻止するために必要な措置をとるよう要請したもの。

#### V. Services of the Indonesian Counterpart Personnel and Administrative personnel.

1. 効率的な技術移転を実施するために不可欠な相手側のカウンターパート、スタッフを確保するために特に設けた項である。過去においては、次項の「Measures to ~~the~~ be taken by the Government of the Republic of Indonesia」の中で規定されていた。  
〔南スマトラ森林造成の例〕

#### V. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF INDONESIA

1. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Indonesia, the Government of the Republic of Indonesia will take necessary measures to provide at its own expense :
  - (1) Services of the Indonesian counterpart personnel and administrative personnel as listed in Annex IV ;
  - (2) Land, buildings and facilities as listed in Annex V ;
  - (3) Supply of replacement of machinery, equipment, instrument, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project other than those provided through JICA under III above ;
  - (4) Transportation facilities and travel allowance for the Japanese experts for the official travel within the Republic of Indonesia ;
  - (5) Existing suitably furnished accommodations for the Japanese experts and their families.

2. カウンターパートの配置は、わが国の技術移転の受皿となる極めて重要な事項であるが、「イ」側が強く要請する場合は、「will allocate」を「will endeavour to allocate」と修正する。

(火山砂防技術訓練センターの例)

2. As to the Indonesian counterpart personnel, the Government of the Republic of Indonesia will endeavour to allocate the necessary number of suitably qualified personnel corresponding to each Japanese expert to be dispatched by the Government of Japan as specified in Annex II for effective and successful implementation of the Project.

#### VI. Measures to be taken by the Government of the Republic of Indonesia

1. 本項目の変更・削除については、これら項目がプロジェクト実施上必要不可欠な基本項目であるところから、原則として変更・削除は認められない。

しかしながら、相手国側に財政上あるいは国内の制度上の理由等により負担が困難な場合もあり、それぞれの負担状況は、地域、国により一律ではない現状である。このため、本件については、相手国の受入体制をよく調査し、原則論に抵触しない範囲内において適宜ケース・バイ・ケースで対応することとする。

(具体的には、専門家の住居手当については JICA から支給される場合が多いので、

「イ」側からの強い要請があれば、本項 1.(4) は削除することとする。)

2. 技術協力による供与機材の相手国内における輸送費、据付費等の相手国負担、関税等の免除につき規定したもの。
3. 相手国によるローカルコスト負担

#### VII. Administration of the Project

1. 「イ」側管理運営体制(基本的には「イ」側の問題)
2. 合同運営委員会の設置
3. 校長等の権能
4. 日本人専門家リーダー及び各部門代表者の権能

「Administrative matters」に「イ」側が難色を示すことも考えられるが、Chief Adviser は「technical matters」の遂行上必要とされる「イ」側カウンターパートの確保及び予算措置等に関し、助言を行う必要性を「イ」側に説得する。

5. 組織図に関する言及

#### VIII. International Characteristics of CEVEST as a Part of the ASEAN Human Resources Development Project

1. ① 付属文書 I 1 と関連
- ② ASEAN 人造りプロジェクトの特色(第3国研修)

## 2. 沖縄国際センターとの関連

[ ジャカルタミニッツ ]

### C. INTERNATIONAL CENTER

27. The Japanese Delegation presented a tentative draft paper on the International Center which will be established in Okinawa as an auxiliary body under the Japan International Cooperation Agency ( J I C A ) which appears as Annex L.

28. The main functions of the International Center will be :

- to hold orientation seminars and technical training courses for training participants from the ASEAN countries, Japanese experts to be dispatched to the ASEAN countries and so forth ;
- to promote human exchanges through these activities, and
- to perform the function of liaison with and to offer the back-up services to each center to be established in the ASEAN countries.

29. The Meeting supported the establishment of the International Center.

30. The Meeting agreed that programmes of this International Center should not as far as possible, duplicate those of the National Centers and they should not adversely affect the programmes of the National Centers.

### D. RELATION BETWEEN THE NATIONAL CENTERS AND THE INTERNATIONAL CENTER

31. The Meeting agreed that there will be no organic linkage between the National Centers and the International Center. However, appropriate linkage at the programme level between the National Centers and the International Center will be jointly determined.

## IX. Claims against Japanese Experts

① 本項は、日本人専門家がその職務遂行に関連して他者に損害を与えた場合、故意または重大なる過失による場合を除き、専門家の責任とすることなく、相手国がその責を負うことを規定するものである。

“ otherwise connected with ” とは、通勤の途中の事故もふくむものとの解釈にある。

なお、国によっては “ gross negligence ” に替え単に “ negligence ” とすること

を要求する場合があるが、軽微な過失による場合にも専門家の責とすることは回避すべきであるので、“gross”の削除には応じられない。

相手国によっては、本項に「国内法令に基づいて」という条件を挿入するように要求するところもある。

しかし、わが方としては、相手国の現行法令の如何に拘らず、不当な請求から専門家を保護する必要があるため、その種の条件の挿入には応じられない。

- ② 最近「イ」側が、本項に「fraudulent」という形容詞を付け加えたい旨要請してきた例（バイオマス）があるが、わが方としては受け入れることはできない。

（「wilful misconduct」で読める。）

#### X. Mutual Consultation

本相互協議は、プロジェクトの実施担当者レベルの協議ではなく、R/Dの変更、中止、延長等の大きな問題についての両国政府間の協議を意味するものである。

#### XI. Term of Cooperation

- ① 本件プロジェクトの協力期間が5年であることについては、事前調査にて「イ」側と合意済み。

（ミニッツ 2 P.）

##### 3. Framework of the Technical Cooperation.

(1) Term of technical cooperation is five years.

- ② しかし、本件プロジェクトが延長含みであることはジャカルタミニッツで合意済みであるので、協力期間の延長については、協力開始後改めて「イ」側と協議する。

（during the second year of the Cooperation period）（あるいは after two years としても良い。）

#### DURATION OF PROJECT

50. Japan and ASEAN agreed on a period of 5-7 years for project duration and flexibility should be given to the starting date for implementation of the project by each country.

- ③ 協力期間の開始は通常R/Dを署名した日より起算することとなる。過去のR/D例をみるとR/D協力期間の起算日をわが方の予算年度あるいは相手国側の予算年度の開始時期に合致させている例がある。これらは協力の実効性を年頭においたものであろうが、R/Dがいわば協力開始についての実質的着手表明であることから、日本側及び相手国側にとって協力は当該R/Dによって始まるとの認識が強い。従ってこの現実的認識を踏まえ、協力期間の開始はR/D署名年月日より起算するのがよい。

R/Dが法的に国際約束を形成するものではなく、それぞれの政府へその討議結果を勧告するという体裁をとっているところから、協力期間起算には勧告に基づくそれぞれ

の政府の何らかの決定行務が必要である。従ってR/D署名日をもって起算日とすることに無理を生ずることとなるとの見解がある。この見解によれば上記の手續上の時間的差異を念頭におき、協力期間の起算日を決めるためには、協力期間起算日をR/D署名日とせず、日本側実施協議チームと相手側代表者との間で勧告—決定までの適当な時間を見越し、それを打合せた上で適当な起算日(年・月・日)を決めるとの解釈を生ずることとなる。

つきつめて考えれば確かに上記のとおりであるが、R/Dの実体的効力及び動態的内容を考えれば、上記の形式論にこだわる必要はないといえる。



## Ⅵ. 調査・交渉の経緯及び結果

### 1. 調査交渉結果概要

a. 調査団は我が方で作成した討議議事録（R/D）（案）に基づき、2月9日より「イ」側との間で協議を重ねた結果、2月15日最終的合意に達し、16日午前、R/Dに署名した。また、同時に協議された暫定実施スケジュール（T S I）についても、R/Dと共に署名された。

b. 合意に達したR/D及びT S Iは次の項目を含む。

- <R/D>
- (1) 両国政府の協力（目的、マスター・プラン）
  - (2) 日本人専門家の派遣（派遣分野、特権免除）
  - (3) 機材の供与（機材項目等）
  - (4) 研修生の受入
  - (5) 「イ」側要員の確保（要員分野等）
  - (6) 「イ」側責務
  - (7) プロジェクトの運営（運営組織、チーフ・アドバイザーの職務権限等）
  - (8) CEVESTのASEAN人造りプロジェクトの一環としての国際的性格
  - (9) 日本人専門家に対する請求（クレーム）
  - (10) 相互協議
  - (11) 協力期間

- <T S I>
- (1) 暫定実施計画
  - (2) 「イ」側要員配置計画
  - (3) 組織図

c. 我が方で作成したR/D（案）については、Board of Directorsに関する言及を削除し、本プロジェクトの最高責任者としてPrincipalの代りにProject Coordinatorを置く等、運営組織上の変更を行った他は、結果的には大きな修正はなく、若干の字句修正を行った後、概ね「日」側案のまま合意に達した。

d. 協議の過程で問題となった主要な点は次のとおりである。

- (1) 事前調査、基本設計調査を通じて問題となり未解決であった、追加ワークショップ（建設、秘書、手工芸）建設の要求については、「イ」側は、今なお強い希望を有していることを表明したものの、本件の対処が実施協議チームの権限外であることを良く理解しており、公式の場では協議されることはなかった。
- (2) プロジェクトの最高意志決定機関として考えられていたBoard of Directorsについては、その構成及び権能について「イ」側の考えがまともにおらず、R/Dから削除することとなった。

- (3) Principal については、「イ」側手続上、協力期間中の適当な時期に任命することが困難であり、代りに、プロジェクトの最高責任者、即ち、チーフ・アドバイザーのカウンターパートとして Project Coordinator (ダナン労働力開発利用総局長を予定)を置き、職業訓練及び小規模工業の両部門の長として2名の Project Officer を置くこととされた。
- (4) R/Dの性格について、「イ」側は、ウジュバンダン職訓センターの例(二国間の協定を締結した。)にならい、これを技術協力を開始する最終的文書とすることに対して難色を示したが、我が方よりR/D署名により行われている多数の技術協力の例を示したところ、先方も納得した。
- (5) 「イ」側責務のうち、機材スペアパーツの補充等、日本人専門家の「イ」国内出張旅費・日当負担、並びに日本人専門家及び家族への住宅提供について、これらを「日」側負担とするよう強く要望されたが、我が方より他のR/Dの例を示しつつ、原則的には「イ」側負担であることを説明し、併せて実行上はJICA負担となることもあり得る旨言及したところ、先方もこれを納得した。
- (6) 日本人専門家に対する医療の提供について、「イ」側は、良質の医療の提供が困難であることを理由に難色を示したが、我が方はこれを受入国側の負担であるとの原則論を展開、併せて、実行上我が方負担とすることもあり得る旨説明したところ、先方もこれを納得した。



2. 討議議事録に関する調査・交渉

討議議事録に関する協議は、予め「イ」側に送付した「日」側原案に基づき、両部門共通の部分は合同協議において、職業訓練部門及び小規模工業部門独自の部分はそれぞれの個別協議の場において行われた。

協議の概要は次のとおりである。

THE RECORD OF DISCUSSIONS BETWEEN  
THE JAPANESE IMPLEMENTATION SURVEY TEAM  
AND THE AUTHORITIES CONCERNED OF  
THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF INDONESIA  
ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION  
FOR THE CENTER FOR VOCATIONAL AND  
EXTENSION SERVICE TRAINING  
(CEVEST)

The Japanese Implementation Survey Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Shigeru Eda visited the Republic of Indonesia from February 8 to February 17, 1983 for the purpose of working out the details of the technical cooperation programme concerning the project on the Center for Vocational and Extension Service Training (hereinafter referred to as "the Project"), the ASEAN Human Resources Development Project in the Republic of Indonesia.

During its stay in the Republic of Indonesia, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Indonesian authorities concerned in respect of the desirable measures to be taken by both Governments for the successful implementation of the Project.

As a result of the discussions, the Team and the Indonesian authorities concerned agreed, with reference to the Minutes of the Second ASEAN-Japan Meeting on the ASEAN Human Resources Development Project, Jakarta, 6-7 October 1981, to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.

③ February , 1983  
Jakarta

「イ」側修正案・意見	「イ」側修正案に対する「ロ」側提案・意見	結 論
<p>①-2 了解</p> <p>②-1 どうして recommend という弱い言葉を使うのか。勧告が拒否されるような可能性はあるのか。</p> <p>②-3 了解</p> <p>③-2 了解</p>	<p>①-1 他の R/D の例にならい Mr. Shigeru Eda の後に Director-General, Statistics and Information Department, Ministry of Labour, を挿入する。</p> <p>②-2 両国政府に勧告する形にはなっているが、勧告が政府によって拒否される可能性は事実上ほとんどなく心配はいらない。</p> <p>③-1 February の後に 16 を挿入</p>	<p>① Mr. Shigeru Eda, Director-General, Statistics and Information Department, Ministry of Labour.</p> <p>② 原案どおり</p> <p>③ February 16</p>

日 本 側 原 案

Leader Implementation ④ Survey Team ⑤ Japan International Cooperation Agency, Japan	DANANG D. JOEDONAGORO ⑥ <u>Director General for Manpower Development and Utilization,</u> Ministry of Manpower and Transmigration, The Republic of Indonesia	GITOSEWOJO Director General of Small Industry, Ministry of Industry, The Republic of Indonesia
--	---	---

THE ATTACHED DOCUMENT

I. COOPERATION BETWEEN BOTH GOVERNMENTS

1. The Government of Japan and the Government of the Republic of Indonesia will cooperate with each other in implementing the Project on the Center for Vocational and Extension Service Training (hereinafter referred to as "CEVEST") for the purpose of developing human resources necessary for the expansion and improvement of the vocational training system and small industries promotion service system. Furthermore, as a part of the ASEAN Human Resources <sup>⑦</sup> Development Project, it is anticipated that the Project will strengthen and accelerate <sup>⑧</sup> cooperation among ASEAN countries through the dissemination of training methods for vocational training and small industries promotion service in the <sup>⑨</sup> region.
2. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan which is given in Annex.I. <sup>⑩</sup>

II. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to provide at its own expense services of the Japanese experts as listed in Annex II through the normal procedures under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.

「イ」側修正案・意見	「イ」側修正案に対する「ロ」側提案・意見	結 論
④-1 Survey Teamの後に、 を挿入。	④-2 了解	④ Survey Team,
⑤-1 江田氏の所属先である 労働省とJICAは直接の関係は ないで、Japan International Cooperation Agencyの前にfor を挿入すべきである。	⑤-2 江田氏はJICAの実施 協議チームのリーダーとしてオ ーソライズされているのでfor は不要である。	⑤ 原案どおり
⑥-1 Director General of Manpower Development and Utilizationとしたい。	⑥-2 了解	⑥ Director General of Manpower Development and Utilization
⑦-1 extensionとする。	⑦-2 了解	⑦ extension
⑧-1 Cooperationの前に theを挿入する。	⑧-2 了解	⑧ the cooperation
(⑨:⑦の関連で修正)		
⑩-1 as attached in(to)と する。	⑩-2 which is attached as ではどうか。	⑩ which is attached as
⑩-3 了解		

2. Privileges, exemptions and benefits to be granted by the Government of the Republic of Indonesia to the Japanese experts referred to in 1 above and their families in the Republic of Indonesia will be no less favourable than those granted to experts and their families of third countries or of international organizations performing similar missions, and will include the followings:

- (1) Exemption from income tax and charges of any kind imposed on or in connection with the living allowances remitted from abroad in relation with the implementation of the Project;
- (2) Exemption from import and export duties and any other charges imposed in respect of personal and household effects which may be brought into from abroad or taken out of the Republic of Indonesia;
- (3) Exemption from import tax, import sales tax, sales tax, and other taxes and charges of any kind imposed on or in connection with the purchase in the Republic of Indonesia by the Japanese experts of one motor vehicle per each expert;
- (4) Free local medical services and facilities to the Japanese experts and their families.

### III. PROVISIONS OF MACHINERY AND EQUIPMENT

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures to provide at its own expense such machinery, equipment and other materials (hereinafter referred to as "the Equipment") necessary for the implementation of the Project as listed in Annex III.

The major portion of the Equipment will be provided under the grant aid scheme of the Government of Japan and, as supplement, a small portion of the Equipment will be provided through the normal procedures under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.

2. The Equipment to be provided under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme will become the property of the Government of the Republic of Indonesia upon being delivered c.i.f. to the Indonesian authorities concerned at the ports and/or airports of disembarkation, and will be utilized exclusively for



「イ」側修正案・意見	「イ」側修正案に対する「ロ」側提案・意見	結 論
<p>⑪-1 対象となる家族の範囲を限定してほしい。</p> <p>⑪-3 了解</p> <p>⑫-1 similarly treated asとする。</p> <p>⑫-3 了解</p>	<p>⑪-2 P19に示されており、その必要はない。</p> <p>⑫-2 他のR/Dと横並びの表現であり修正できない。</p>	<p>⑪ 原案どおり</p> <p>⑫ 原案どおり</p>
<p>⑬-1 expertとconsultantの定義上の違い、家族の範囲等が明らかでない場合があることと、インドネシアの医療水準が低いので専門家が満足しないことから、事実上難しいのでこの項は削除されたい。</p> <p>⑬-3 ウジュンバンタン職業訓練センター・プロジェクトの時と同じ相互理解であると解し、このままでも良い。</p>	<p>⑬-2 実際はJICAで負担することもあり得るが、原則として受入れ国側の負担でありこのまま残すこととしたい。</p>	<p>⑬ 原案どおり</p>
<p>⑭-1 何故大文字となっているのか。</p> <p>⑮-1 Small portionとは具体的にどういうことか。</p>	<p>⑭-2 前の段落で引用しているからであり、other materialsも含まれている。</p> <p>⑮-2 今の段階では、具体的に特定できない。機材の大部分が無償資金協力で供与されるのに対し、相対的に少量の機材が技術協力によって供与されるということである。</p>	<p>⑭ 原案どおり</p> <p>⑮ 原案どおり</p>

the implementation of the Project in consultation with the Japanese experts referred to in Annex II.

#### IV. TRAINING OF INDONESIAN PERSONNEL IN JAPAN

1. <sup>16</sup> In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to receive at its own expenses the Indonesian personnel connected with the Project for technical training in Japan through the normal procedures under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.

2. The Government of the Republic of Indonesia will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Indonesian personnel from technical training in Japan will be utilized effectively for the implementation of the Project.

#### V. SERVICES OF THE INDONESIAN COUNTERPART PERSONNEL AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

1. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Indonesia, the Government of the Republic of Indonesia will take necessary measures to secure at its own expense the necessary services of Indonesian counterpart personnel and administrative personnel as listed in Annex IV.

2. The Government of the Republic of Indonesia will allocate the necessary number of <sup>17</sup> suitably qualified personnel corresponding to each Japanese <sup>18</sup> experts to be dispatched by the Government of Japan as specified in Annex II for the effective and successful transfer of technology under the Project.

#### VI. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF INDONESIA

1. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Indonesia, the Government of the Republic of Indonesia will take necessary measures to provide at its own expense.

「イ」側修正案・意見	「イ」側修正案に対する「ロ」側提案・意見	結 論
<p>⑩-1 (準) 高級官僚が指導員と同じような扱いにならないようお願いする。</p> <p>⑩-3 今年度についてはどのレベルで受け入れるのか。</p>	<p>⑩-2 高級・準高級研修員を一般の研修員と同じ扱いにはしていない。</p> <p>⑩-4 A2-3 Formの提出が先決であり、それによって個々に判断される。</p>	<p>⑩ 原案どおり</p>
<p>⑪-1 suitablyとはどういう意味か。</p> <p>⑬-1 複数のsをとる。</p>	<p>⑪-2 適格なという意味で、具体的にはケース・バイ・ケースである。</p> <p>⑬-2 了解</p>	<p>⑪ 原案どおり</p> <p>⑬ expert</p>

日 本 側 原 案

- (1) Land, buildings and facilities as listed in Annex V;
- (2) <sup>19</sup> Supply or replacement of machinery, equipment, instrument, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project other than those provided by the Government of Japan under III. above;

「イ」側修正案・意見	「イ」側修正案に対する「日」側提案・意見	結 論
<p>⑩-1 ウジュンパンダン職業訓練センター・プロジェクトでは実際は「日」側で負担していた。</p> <p>⑩-3 during the term of cooperationという句を入れて協力期間中だけであることを明示した上で、「日」側で負担してもらえないか。あるいは、2年間、3年間だけでも良い。</p> <p>⑩-5 機械についてはトライアル・ランの後に引渡されるべきである。世銀プロジェクトでは、設置してみたら多くの機械が動かなかつたという問題があった。指導員が検収の際チェックすべきと言うが、トライアルなしでは誰も責任が持てない。</p> <p>⑩-7 ポートに着いてから、サイトに設置するまでの間、誰が責任を持つか。関係者から成る検収委員会を作るべきであり、また、サイトでのトライアル・ランまで保険をかけていただきたい。</p> <p>⑩-9 書いていないと保証にはならない。本項が gentleman agreement であると言うならばこのままでも良いが、運用がウジュンパンダン職業訓練センター・プロジェクトの時と変わら</p>	<p>⑩-2 実際には「日」側が負担することもあり得るが、機材は「イ」側財産となるのであるから replacement は「イ」側で負担するのが原則である。</p> <p>⑩-4 これは原則を唱っているものであり変更はできない。</p> <p>⑩-6 無償機材は設置まで「日」側で責任を持つ。技協機材については、検収があり、問題がないのではないか。ウジュンパンダン職業訓練センターの機材も技協機材であったのを思い起こしてほしい。実際には、「日」側で負担する場合もあり、その都度、適切な措置がとられるので心配ない。</p> <p>⑩-8 ポート→サイト間の輸送については「日」側で保険をかける。サイト設置及びトライアル・ラン時には「イ」側の責任となる。その際問題が起つた場合、状況に応じ JICA 側で負担する場合もある。しかし、本(2)項は大原則であり削除できない。他の R/D も同様の表現となっている。</p> <p>⑩-10 X. Mutual Consultation の項が紳士協定の基礎を与えると思う。</p>	<p>⑩ 原案どおり</p>

(3) ② Transportation facilities and travel allowance for the Japanese experts for the official travel within the Republic of Indonesia;

(4) ② Suitably furnished accommodations for the Japanese experts and their families.

2. As for the Equipment to be supplied under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme, the Government of the Republic of Indonesia will take, in accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Indonesia, necessary measures to meet;

(1) Expenses necessary for the transportation within the Republic of Indonesia as will be for the installation, operation and maintenance thereof;

(2) Customs duties, internal taxes and any other charges imposed in the Republic of Indonesia.

「イ」側修正案・意見	「イ」側修正案に対する「ロ」側提案・意見	結 論
<p>ない旨の記述がどこかに必要である。あるいは、紳士協定の基礎となるもの、例えば問題があれば紳士協定によって解決される旨の一項をどこかに入れてはどうか。我々も、政府に理解させるためのベースが必要である。</p> <p>⑯-11 了解</p> <p>⑰-1 移動の足は考慮するが daily allowance は無理である。</p> <p>⑰-1 同意できない。</p> <p>⑰-3 法的には本項によって拘束される。</p> <p>(以降、⑱に関する協議参照)</p> <p>⑰-5 了解</p>	<p>⑰-2 ウジュンバンダン職業訓練センター・プロジェクトの場合は、旅費を負担していただいて非常に助かった。CEVESTは全土をカバーするので旅行も多くなろう。JICAで負担する場合もあるが、原則受入国側負担であり、努力されたい。</p> <p>⑰-2 これについても、実際はJICAで負担することとなる。</p> <p>⑰-4 他のインドネシアのプロジェクトにも入っており問題ないと思う。</p>	<p>⑰ 原案どおり</p> <p>⑱ 原案どおり</p>

3. <sup>22</sup> In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Indonesia, the Government of the Republic of Indonesia will take necessary measures to meet all operating expenses necessary for the implementation of the Project.

VII. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. The Ministry of Manpower and Transmigration, represented by the Director General of Manpower Development and Utilization, and the Ministry of Industry, represented by the Director General of Small Industry, will bear overall responsibility for the implementation of the Project.

2. For the smooth and effective implementation of the Project, a Board of Directors and a Joint Committee with the function and composition as referred to in Annex VI <sup>24</sup> will be established.

3. The Principal of CEVEST, as the head of the Project, under the supervision <sup>25</sup> the supervision and direction of the Board of Directors, <sup>27</sup> will be responsible for the administrative and managerial matters of the Project. The Board of Directors shall appoint <sup>28</sup> the Head of Department who will deal with training <sup>29</sup> programmes and technical matters of respective Department.



「イ」側修正案・意見	「イ」側修正案に対する「ロ」側提案・意見	結 論
<p>㉔-1 オランダ政府の場合は、協力期間中はすべて「オ」側で負担してくれる。</p> <p>㉔-3 了解</p>	<p>㉔-2 これは日本の技術協力システムの原則であり変更できない。</p>	<p>㉔ 原案どおり</p>
<p>㉔-2 まだ定まった考えはなく、明らかにできない。</p> <p>㉔-4 削除してかまわない。</p>	<p>㉔-1 従来より本プロジェクトの最高方針決定機関として検討されてきた Board of Directors の機能及び構成について明らかにされたい。</p> <p>㉔-3 不明瞭なものを R/D に記載することはできないので、R/D 署名までに明確にならなければ削除することとしたいがそれでも良いか。また、Board of Directors を R/D から削除することとなれば、B of D を設置したとしても、CEVEST の運営に直接関与するような意志決定機能を持つ存在としては認められず、その機能はアドバイスのものにとどまらざるを得ないがそれでも良いか。</p>	<p>㉔ 削除</p>
<p>㉔-1 the とする。</p> <p>㉔-1 Principal は通常プロジェクトの終了後に任命されるものであり、Principal がプロジェクトの長になるとも限らない。プロジェクトとルーティ-</p>	<p>㉔-2 了解</p> <p>㉔-2 チーフ・アドバイザーのカウンターパートとして一名の全プロジェクト責任者が必要である。</p>	<p>㉔ the</p> <p>㉔ Project Coordinator</p>

4. The Japanese Chief Advisor will provide necessary recommendation and advise on technical and administrative matters concerning the implementation of the Project to the Principal of CEVEST in close consultation with the representative of Japanese experts of each Department. The representative of Japanese experts of each Department will coordinate the Japanese experts assigned to respective Department and advise the Head of Department concerning training programmes and technical matters of respective Department.

5. The organizational chart of CEVEST is as referred to in Annex VII.

VIII. INTERNATIONAL CHARACTERISTICS OF CEVEST AS A PART OF THE ASEAN HUMAN RESOURCES DEVELOPMENT PROJECT

1. While the content of the programme is to be decided jointly by JICA and CEVEST, with due consideration to the development of adequate capacity for its purpose, CEVEST is to be opened to nationals of all ASEAN member countries through regional training programmes to be formulated in the future.

「イ」側修正案・意見	「イ」側修正案に対する「ロ」側提案・意見	結 論
<p>ンは別である。 CEVESTについては、両省から二人のProject Officerが各部門の責任者として任命されよう。</p> <p>㉔-3 Project Officerの上位にProject Coordinatorが居て両部門を統括することになっているのでProject Coordinatorとするのはどうか。</p> <p>㉔-2 了解 (㉔:㉕の関連で削除)</p> <p>㉔-1 内政の問題であるから削除されたい。</p> <p>㉔-3 了解 (㉔:㉕の関連で削除し、代わりに, を挿入) (㉔:㉕の関連で修正)</p> <p>㉔-1 CEVESTの後にand Deputyを挿入すべきである。</p> <p>(㉔:㉕の関連で修正)</p> <p>㉔-1 CEVESTの後にProjectを挿入</p>	<p>㉔-4 了解</p> <p>㉔-1 大文字とする。</p> <p>㉔-2 Bof Dの代わりにProject Officer, asとする。</p> <p>㉔-2 ここは、チーフ・アドバイザーのカウンターパートである1人の最高責任者について述べたくであり、DeputyについてはANNEX IVと組織図に入れるのでここで触れる必要はない。</p> <p>㉔-2 了解</p>	<p>㉔ Head ㉔ 削除 ㉔ Project Officer, as ㉔ , ㉔ Project Coordinator ㉔ 原案どおり ㉔ Project Officer ㉔ CEVEST Project</p>

③④ The Government of Japan, through JICA, is ready to cooperate in the implementation of such regional programmes.

2. Due consideration will be paid to appropriate linkage at the programme level between CEVEST and the International Center (tentatively named) in Okinawa, which is to perform the function of liaison and back-up services to National Centers.

#### IX. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

③⑤ The Government of the Republic of Indonesia undertakes to bear claims, if any arises, against the Japanese experts engaged in the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in the Republic of Indonesia except for those arising from the wilful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

#### X. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between the two Governments on any major issues arising from, or in connection with this Attached Document.

#### XI. TERM OF COOPERATION

The duration of the technical cooperation for the Project under this Attached Document will be five (5) years from the date of the signing of this Record of Discussions. However, there will be a general review by the Joint Committee on the progress of the implementation of the Project during the second year of the cooperation period in order to assess whether the term of cooperation should be modified for the successful implementation of the Project.

「イ」側修正案・意見	「イ」側修正案に対する「ロ」側提案・意見	結 論
<p>㉔-1 cooperateとはfinanceを含むのか。</p> <p>㉕-1 アセアン・センターと沖縄センターはどのようにリンクされるのか。</p>	<p>㉔-2 まだ決まっていない。</p> <p>㉕-2 組織上の関連はないがプログラムについては適切にリンクされなければならない。原則的には、沖縄センターでは一般的なものを、specificなものはアセアンのセンターで実施されることとなる。</p>	<p>㉔ 原案どおり</p> <p>㉕ 原案どおり</p>
<p>㉖-1 この項の趣旨を説明していただきたい。</p> <p>㉖-3 了解</p>	<p>㉖-2 (説明)</p>	<p>㉖ 原案どおり</p>
<p>㉗-1 協力開始日は協定の締結日が普通ではないのか。</p> <p>㉗-3 最終文書であると理解していなかった。外務省、技調委、パペナスに相談してみる。</p> <p>㉗-5 了解</p>	<p>㉗-2 R/Dが最終文書である。協定方式は時間がかかるので、数年前に手続きを変更し、最近はすべてR/D方式になっている。アセアン人造りプロジェクトもすべてこの方式になっている。</p> <p>㉗-4 最近のインドネシアの他のプロジェクトもR/D方式によっており問題ないはずだ。</p>	<p>㉗ 原案どおり</p>

ANNEX I Master Plan

1. Objectives of the Project

(1) CEVEST, to be established under the ASEAN Human Resources Development Project, will be the national institution for the training of vocational training instructors and extension service workers destined to teach at training institutions and small and middle enterprises throughout the country.

(2) CEVEST, as the ASEAN Human Resources Development Project in Indonesia, is hoped to strengthen and accelerate cooperation among ASEAN countries through the diffusion of innovative and appropriate technology for vocational and extension service training in the region.

(3) CEVEST shall be composed of two Departments:

- (i) Vocational Training Department
- (ii) Extension Service Training Department

2. Objectives of the Technical Cooperation Programme

The objectives of the Japanese technical cooperation programme during the term of cooperation are:

(1) Vocational Training Department

- (i) To provide and conduct training courses for fostering qualified assistant instructors for public vocational training facilities. (Instructor Training Type I and Type II)
- (ii) To provide and conduct training courses for upgrading/retraining incumbent instructors of public vocational training facilities according to their levels of expertise. (Upgrading/Retraining)
- (iii) To provide and conduct a training course for training potential and incumbent directors of vocational training facilities. (Director Training)
- (iv) To provide and conduct a training course for training vocational instructors, training officers, and training managers of enterprises including private vocational training institutions. (Training for Instructors of Enterprises)

「イ」側修正案・意見	「イ」側修正案に対する「日」側提案・意見	結 論
<p>㊦-1 destined ではないか。</p>	<p>㊦-2 辞書によればこれで良い。</p>	<p>㊦ 原案どおり</p>
<p>㊦㊧-1 Department は省とまぎらわしいので省略した方がよいのではないか。</p>	<p>㊦㊧-2 特に省略する必要もないのではないか。</p>	<p>㊦㊧ 原案どおり</p>
<p>㊩㊪-1 複数にする。</p>	<p>㊩㊪-2 了解</p>	<p>㊩㊪ training courses</p>

(v) To conduct research and development essential for establishing an effective national vocational training system and policies.

(2) Extension Service Training Department

(i) To provide and conduct training course for extension workers entrepreneurs and government officials.

(ii) To enhance surveys on small industries development activity in selected areas.

(iii) To enhance guidance consultation and advisory service activities for small industries.

3. Framework of the activities of CEVEST

The framework of the activities of CEVEST to be covered by the technical cooperation of the Government of Japan is as shown in the following tables.



「イ」側修正案・意見	「イ」側修正案に対する「ロ」側提案・意見	結 論

日 本 例 原 案

(1) VOCATIONAL TRAINING DEPARTMENT

(i) Training courses

FIELD	TRADE	INSTRUCTOR TRAINING		UPGRADING/RETRAINING				DIRECTOR TRAINING	TRAINING FOR INSTRUCTORS OF ENTERPRISES
		TYPE I	TYPE II	ASSISTANT INSTRUCTOR JUNIOR INSTRUCTOR	JUNIOR INSTRUCTOR	INSTRUCTOR SENIOR INSTRUCTOR	DIRECTOR TRAINING		
Machining	Machining	20		15	11	8			
Metal Processing	Welding	20		15	11	8			
	Sheet Metal	10		7	5	4			
Auto-motive	Automobile Repairing	45		33	24	18			
Electric Work	Electricity	20		15	11	8			
	Electronics	30		22	16	12			
Total		145	230	107	78	58	120	400	
	Duration	2 years	4 months	3 months	3 months	3 months	2 months	1-2 weeks or more	
	Frequency of Recruitment	once a year	3 times a year	once a year	once a year	once a year	several times a year	about 20 times a year	
Remarks	Entrance Requirements	high school education with at least two years of related experience or academy education	enough skills and knowledge of the trade	over 5 years of experience as an assistant instructor	over 5 years of experience as a junior instructor	over 5 years of experience as an instructor	incumbent of potential director of a vocational training facility	instructor, training officer, or manager of a enterprise	
	Others		Lectures on training methodology and teaching practice only						

「イ」側修正案・意見	「イ」側修正案に対する「ロ」側提案・意見	結 論
<p>㊦-1 複数にする。</p>	<p>㊦-2 了解</p>	<p>㊦ directors</p>

(ii) Research and Development

Subjects of research and development activities			
<p>a. Training methods and standardization of training curricula and facilities for vocational training</p>	<p>b. Training materials including audio-visual aids</p>	<p>c. <u>Trade skill evaluation and certification</u></p>	<p>d. Basic studies with a view to providing necessary information for national policy making on vocational training</p>

「イ」側修正案・意見	「イ」側修正案に対する「ロ」側提案・意見	結 論
<p>㊦-1 Trade skill standard testingとする。</p> <p>㊦-3</p>	<p>㊦-2 Evaluation and certification of trade skill standards ではどうか。</p>	<p>㊦ Evaluation and certification of trade skill standards</p>

(2) Extension Service Training Department

(4) Training Course

Courses	Enrollment	Duration	Annual number of courses	Qualification of trainees	Contents
Extension Service Workers	1. TPL Generalist 30 - 35 persons	2 months ④	3 courses	Those who have graduated from high school, Academy and University or with equivalent ability.	(1) Duty of extension service worker (2 days) (2) Basic knowledge of extension service worker (9 days) (3) Accounting business and personnel management of small industries (29 days) (4) Field study (10 days) ⑤
	2. TPL Specialist (Functional) 30 - 35 persons	3 months	10 - 12 courses	Those personnel who have about two years experiences as TPL or with equivalent experience and ability.	(1) Methodology of finding the actual situation of the management of small industries (20 days) (2) Financing of small industries (35 days) (3) Management of quality control and process control (including field study) (20 days)
	3. Trainer 30 - 35 persons	4 months	3 - 4 courses	Those personnel who have more than two years experiences as TPLS or with equivalent experience and ability.	(1) Management planning and utilization of related information (42 days) (2) Essential points necessary for the guidance of industries (30 days) (3) Marketing strategy (13 days) (4) Teaching method and field training (15 days)
Others	4. Entrepreneur 30 persons	3 - 4 weeks	20 courses	Entrepreneurs from the priority sub-sectors of small industries	(1) Achievement motivation training (2) Socio-economic situation of industries concerned (sector-wise) (3) Basic and practical knowledge required of entrepreneurs (4) Management of stocking, inventory and sales (5) Marketing (6) Personnel management and leadership
	5. Officials	Necessary training courses will be organized as necessity arises.			

(With respect to the contents of training programme, some minor modification may be made in the course of the preparation and implementation of the Project.)

「イ」側修正案・意見	「イ」側修正案に対する「ロ」側提案・意見	結 論
<p>④5-1 現行の Generalist Course では研修期間が3カ月にわたる場合もあるので、それに対応しマキシマムの研修期間3カ月を記載してほしい。</p> <p>④5-3 了解</p> <p>④6-1 Generalist Course において Motivation Training 等の追加的カリキュラムを考えている。(5) others を加えてそれに上記カリキュラムを読み込みたい。</p>	<p>④5-2 実施段階に入れば状況に応じ研修期間等ある程度柔軟に対応できるので、現段階で特に変更する必要はない。</p> <p>④6-2 了解</p>	<p>④5 2 months</p> <p>④6 (5) others を加える。</p>

ANNEX IV List of Indonesia Staff

47

1. Principal

48

2. Vice Principal

49

3. Counterpart personnel as follows:

50

(1) Vocational Training Department

- (i) Methods/Curricula/Programmes
- (ii) Training Materials
- (iii) Skill Evaluation/Certification
- (iv) Basic Studies
- (v) Machining
- (vi) Welding
- (vii) Sheet Metal
- (viii) Pipe Fitting
- (ix) Automobile Repairing
- (x) Electricity
- (xi) Airconditioning/Refregeration
- (xii) Electronics
- (xiii) Instructor Training Type II
- (xiv) Director Training
- (xv) Training for Instructors of Enterprises

(2) Extension Service Training Department

- (i) Director of Board in charge of Extension Service Training Dept.
- (ii) Director of Industrial Extension Service Promotion Dept.
- (iii) Director and Sub-Director of Extension Service Training  
Division
- (iv) Director and Sub-Director of Study and Survey Development  
Division
- (v) Director and Sub-Director of Entrepreneur Managerial Develop-  
ment Division
- (vi) Director and Sub-Director of Guidance and Consulting Division



「イ」側修正案・意見	「イ」側修正案に対する「日」側提案・意見	結 論
<p>④⑦-2 了解</p> <p>④⑧⑨-1 削除すべきである。</p> <p>④⑧⑨-3 了解</p> <p>( ④⑧ : ②⑤に関連して修正 )</p> <p>( ④⑨ : ②⑤②④③①に関連して修正 )</p> <p>( ⑤① : ④⑨に関連して修正 )</p>	<p>④⑦-1 The Attached Document の V のタイトルと合わせるため、Counterpart Personnel and Administrative Personnel とする。</p> <p>④⑧⑨-2 管理者も広義のカウんターパートとして「イ」側スタッフの中に明示する必要がある。( ⇔ ④⑦ )</p>	<p>④⑦ Counterpart Personnel and Administrative Personnel</p> <p>④⑧ Project Coordinator</p> <p>④⑨ 2. Deputy 3. Project Officers</p> <p>⑤① 4. Counter Part Personnel</p>
<p>⑤①-1 Type II は必要ないのではないか。</p> <p>⑤①-3 了解</p>	<p>⑤①-2 Type I は(V)~(XII)に含まれるのに対し、Type II は独自のスタッフも必要である。</p>	<p>⑤① 原案どおり</p>
<p>( ⑤② : ②③により"Board of Directors"をR/Dから削除したためそれに対応し削除 )</p>		
<p>( ⑤③ : 本項(III)は、②⑤で設けられた "Project Officer" に該当するが、Project Officer は ANNEX IV 3. Project Officers として別掲してあるので削除 )</p>		
<p>⑤④-1 "Director" というタイトルは「イ」国政府内で部・局以上の長に対して用いられるため、CEVEST の Division の長に対して使うのは不適當。また各 Division の下に3つの Section を設け Sub-Director は設けない。そのため Director → Division Chief, sub-Director → Section Chieives とする。</p>	<p>⑤④-2 了解</p>	<p>⑤④ Division Chief and Section Chieives of Extension Service Training</p>

4. Administration Staff

④

- (i) Administration
- (ii) Accounting
- (iii) Clerical work

5. Other necessary personnel

④

「イ」側修正案・意見	「イ」側修正案に対する「ロ」側提案・意見	結 論
<p>( 55 : 54 と同様に修正 )</p> <p>( 56 : 54 と同様に修正 )</p> <p>( 57 : 54 と同様に修正 )</p> <p>( 58 : 47 58 に関連して修正 )</p> <p>( 59 : 58 に関連して修正 )</p>		<p>58 5. Administrative Personnel</p> <p>59 6.</p>

ANNEX V List of Land, Building and Facilities

1. Land

Bekasi, JAWA

2. Building

Buildings necessary for the implementation of the Project other than those provided under the grant aid scheme of the Government of Japan.

3. Facilities

Facilities necessary for the Project, such as supply of electricity, water, etc.

「イ」側修正案・意見	「イ」側修正案に対する「日」側提案・意見	結 論
<p>㊦-1 将来ブカンはジャカルタに統合される予定であるが、現在はWest Javaに属している。</p> <p>㊦-3 このままで良い。</p>	<p>㊦-2 将来統合されるなら、このままで良いのではないか。表示は「イ」側にお任せする。</p>	<p>㊦ 原案どおり</p>

ANNEX VI Joint Committee

1. Functions

The Joint Committee will meet at least once a year and whenever necessity arises, and work:

- (1) To formulate the annual operational plan of the Project in line with the Tentative Implementation Schedule set up under the framework of this Record of Discussions;
- (2) To review the overall progress of the technical cooperation programme set out in this Record of Discussions as well as the achievements of the above-mentioned annual operational plan;
- (3) To review and exchange views on major issues arising from, or in connection with the technical cooperation programme.

2. Composition

(1) Indonesian Side:

- (a) Director General of Manpower Development and Utilization;
- (b) Director General of Small Industry;
- (c) Principal of CEVEST;
- (d) <sup>61</sup> Representatives of Indonesian authorities concerned.

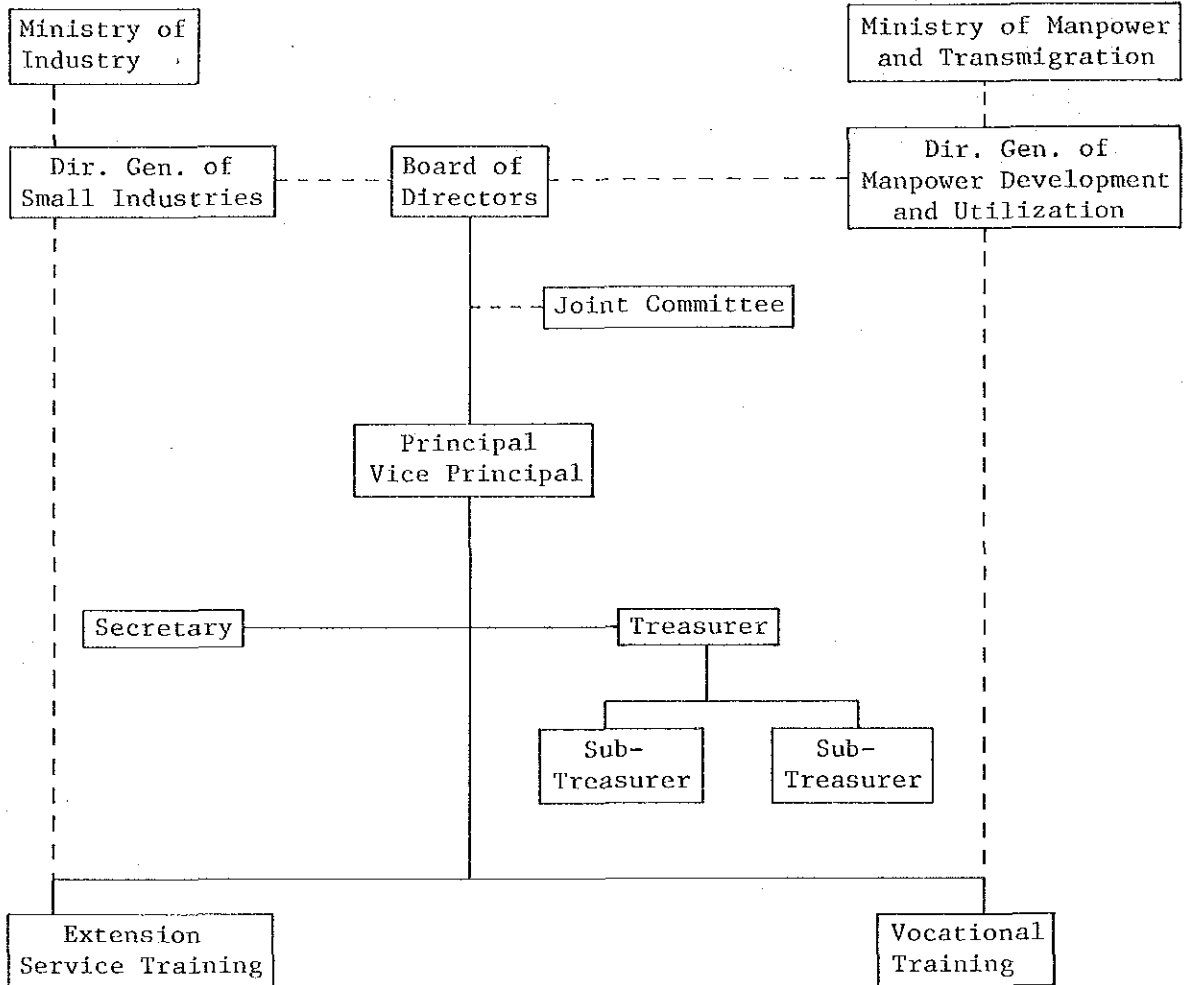
(2) Japanese Side:

- (a) Chief Advisor;
- (b) Representative of each Department;
- (c) Representative of JICA in Indonesia;
- (d) Personnel concerned to be dispatched by JICA if necessary;
- (e) Coordinator.

Note: Officials of the Embassy of Japan may attend the Joint Committee as observers.

「イ」側修正案・意見	「イ」側修正案に対する「ロ」側提案・意見	結 論
<p>( ㉑ : ㉒ に関連して修正 )</p> <p>㉒-2 了解</p>	<p>㉒-1 (d)と(e)の順序を入換えたい。</p>	<p>㉑ Project Coordinator</p> <p>㉒ (d) Coordinator; (e) Personnel concerned to be dispated by JICA if necessary.</p>

ANNEX VII THE ORGANIZATION CHART OF CEVEST





「イ」側修正案・意見	「イ」側修正案に対する「ロ」側提案・意見	結 論
<p>㉓-1 「ロ」側の組織も入れてはどうか。</p> <p>㉓-3 了解</p> <p>( ㉓ : ㉔ , ㉕ , ㉖ に関連して修正 )</p>	<p>㉓-2 通常入れない。</p>	<p>㉓</p>
<pre> graph TD     MI[Ministry of Industry] -.-&gt; DSI[Dir. Gen. of Small Industry]     MT[Ministry of Manpower and Transmigration] -.-&gt; DMU[Dir. Gen. of Manpower Development and Utilization]     DSI -.-&gt; PC[Project Coordinator (Head of Project)]     DMU -.-&gt; PC     PC -.-&gt; JC[Joint Committee]     PC -.-&gt; Sec[Secretary]     PC -.-&gt; Tre[Treasurer]     Tre -.-&gt; ST1[Sub-Treasurer]     Tre -.-&gt; ST2[Sub-Treasurer]     PC -.-&gt; PO1[Project Officer (Head of Department)]     PC -.-&gt; PO2[Project Officer (Head of Department)]     PO1 -.-&gt; EST[Extension Service Training]     PO2 -.-&gt; VT[Vocational Training]   </pre>		

### 3. 暫定実施計画その他に関する調査・交渉

#### (1) 暫定実施計画（T S I : Tentative Schedule of Implementation）について

① 事前調査までの調査・協議結果に基づき当方で作成した T S I（案）を先方に示し、その内容と基本的考え方について説明しつつ協議したところ、先方は納得し、全く変更のないまま合意に達した。

② 但し、小規模工業部門の長期専門家の派遣時期については、「日」側原案では5月末派遣のところで、工業省の新庁舎（ジャカルタ市東南 Gatot Subroto 通り）への引越しを6月に行う予定であり、引越し完了まで専門家事務所の確保の見通しが見つからないこと及び引越しに忙殺されるため、「イ」側は派遣持期は8月が望ましいと述べた。結局、とりあえず T S I 上は、5月派遣のままとし、実際の派遣時期は J I C A 事務所等を通じ「イ」側受入体制を確認しつつ、双方適切な時期を検討することとした。

③ 要員配置計画（Staffing Plan）についても、事前調査において先方と協議しつつ作成した案及びその後の先方提出資料を基に協議し、作業したところ、職業訓練部門においてはプラン(A)、(B)の両方について、小規模工業部門においては、総括部門（INDUSTRIAL EXTENSION SERVICE PROMOTION DEPT. - Project Officer 属する -）の下に4課、各課の下に3セクションを設けた組織（総勢96名のスタッフ）について合意に達した。この要員配置計画及び建物完成前のカウンターパートの配置について、当方からは、技術移転におけるカウンターパートの重要性を強調し、確実な実行を強く要請しおいた。

(2) 事前調査時に問題となった追加ワークショップの件については、これについて協議することが実施協議チームの権限の枠外であることを先方が良く理解しており、当方からの確認に応じて、今なお強い希望を有していることを表明したものの、4月に派遣が予定されている基本設計ドラフト説明ミッションにその検討が委ねられているとして、公式協議の場では議論されることはなかった。

(3) サイト視察については、1月の基本設計チームに引き続いて、ジャカルタの東方約29 kmの位置、ブカシ（Bekasi）市内にあるプロジェクト・サイト（約9.3 ha）を訪れ、平坦地であること、幹線道路（ブカシ街道）からのアクセスにも支障がないこと等、概ね、良好な状況であることを確認した。

(4) 先方受入体制の確認に伴い、小規模工業部門にあつては、工業省に対し再度予算計画を確認したところ、次の通り説明があつた。

○ 1982/83 16百万ルピア

○ 1983/84 370百万ルピア（ドミトリー建設等にあてる。）

○ プロジェクト総計費として BAPENAS より 1.5百万 US\$ の割りあてを得ている。

VII. 討 議 議 事 錄

( R / D : Record of Discussions )



THE RECORD OF DISCUSSIONS BETWEEN  
THE JAPANESE IMPLEMENTATION SURVEY TEAM  
AND THE AUTHORITIES CONCERNED OF  
THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF INDONESIA  
ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION  
FOR THE CENTER FOR VOCATIONAL AND  
EXTENSION SERVICE TRAINING  
(CEVEST)

The Japanese Implementation Survey Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Shigeru Eda, Director-General, Statistics and Information Department, Ministry of Labour, visited the Republic of Indonesia from February 8 to February 17, 1983 for the purpose of working out the details of the technical cooperation programme concerning the project on the Center for Vocational and Extension Service Training (hereinafter referred to as "the Project"), the ASEAN Human Resources Development Project in the Republic of Indonesia.

During its stay in the Republic of Indonesia, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Indonesian authorities concerned in respect of the desirable measures to be taken by both Governments for the successful implementation of the Project.

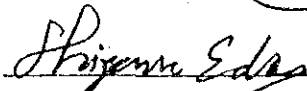
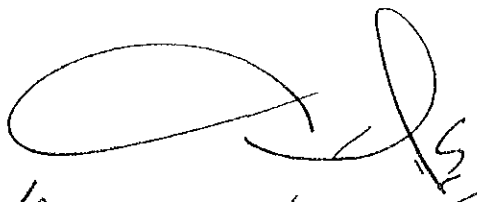

As a result of the discussions, the Team and the Indonesian authorities concerned agreed, with reference to the Minutes of the Second ASEAN-Japan Meeting on the ASEAN Human Resources

Development

Development Project, Jakarta, 6-7 October 1981, to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.

February 16, 1983

Jakarta

 SHIGERU EDA Leader Implementation Survey Team, Japan International Cooperation Agency, Japan	 DANANG D. JOEDONAGORO Director General of Manpower Development and Utilization, Ministry of Manpower and Transmigration, The Republic of Indonesia	 CITOSEWOJO Director General of Small Industry, Ministry of Industry, The Republic of Indonesia
---	--	--

THE ATTACHED DOCUMENT

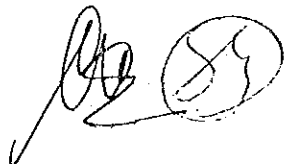
I. COOPERATION BETWEEN BOTH GOVERNMENTS

1. The Government of Japan and the Government of the Republic of Indonesia will cooperate with each other in implementing the Project on the Center for Vocational and Extension Service Training (hereinafter referred to as "CEVEST") for the purpose of developing human resources necessary for the expansion and improvement of the vocational training system and small industries extension service system. Furthermore, as a part of the ASEAN Human Resources Development Project, it is anticipated that the Project will strengthen and accelerate the cooperation among ASEAN countries through the dissemination of training methods for vocational training and small industries extension service in the region.
2. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan which is attached as Annex I.

II. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to provide at its own expense services of the Japanese experts as listed in Annex II through the normal procedures under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.

2.

Handwritten signature and initials in black ink, consisting of a large stylized 'A' and a circled 'S'.

2. Privileges, exemptions and benefits to be granted by the Government of the Republic of Indonesia to the Japanese experts referred to in 1. above and their families in the Republic of Indonesia will be no less favourable than those granted to experts and their families of third countries or of international organizations performing similar missions, and will include the followings:

- (1) Exemption from income tax and charges of any kind imposed on or in connection with the living allowances remitted from abroad in relation with the implementation of the Project;
- (2) Exemption from import and export duties and any other charges imposed in respect of personal and household effects which may be brought into from abroad or taken out of the Republic of Indonesia;
- (3) Exemption from import tax, import sales tax, sales tax, and other taxes and charges of any kind imposed on or in connection with the purchase in the Republic of Indonesia by the Japanese experts of one motor vehicle per each expert;
- (4) Free local medical services and facilities to the Japanese experts and their families.

III.

89



### III. PROVISIONS OF MACHINERY AND EQUIPMENT

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures to provide at its own expense such machinery, equipment and other materials (hereinafter referred to as "the Equipment") necessary for the implementation of the Project as listed in Annex III.

The major portion of the Equipment will be provided under the grant aid scheme of the Government of Japan and, as supplement, a small portion of the Equipment will be provided through the normal procedures under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.

2. The Equipment to be provided under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme will become the property of the Government of the Republic of Indonesia upon being delivered c.i.f. to the Indonesian authorities concerned at the ports and/or airports of disembarkation, and will be utilized exclusively for the implementation of the Project in consultation with the Japanese experts referred to in Annex II.

### IV. TRAINING OF INDONESIAN PERSONNEL IN JAPAN

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to receive at its own expense the

Indonesian

SE

*[Handwritten signature]*

Indonesian personnel connected with the Project for technical training in Japan through the normal procedures under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.

2. The Government of the Republic of Indonesia will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Indonesian personnel from technical training in Japan will be utilized effectively for the implementation of the Project.

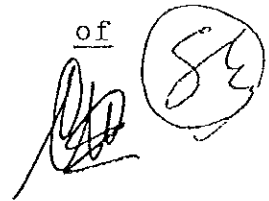
V. SERVICES OF THE INDONESIAN COUNTERPART PERSONNEL AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

1. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Indonesia, the Government of the Republic of Indonesia will take necessary measures to secure at its own expense the necessary services of Indonesian counterpart personnel and administrative personnel as listed in Annex IV.

2. The Government of the Republic of Indonesia will allocate the necessary number of suitably qualified personnel corresponding to each Japanese expert to be dispatched by the Government of Japan as specified in Annex II for the effective and successful transfer of technology under the Project.

VI. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF INDONESIA

1. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Indonesia, the Government of the Republic

of  


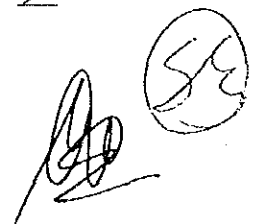
of Indonesia will take necessary measures to provide at its own expense:

- (1) Land, buildings and facilities as listed in Annex V;
- (2) Supply or replacement of machinery, equipment, instrument, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project other than those provided by the Government of Japan under III. above;
- (3) Transportation facilities and travel allowance for the Japanese experts for the official travel within the Republic of Indonesia;
- (4) Suitably furnished accommodations for the Japanese experts and their families.

2. As for the Equipment to be supplied under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme, the Government of the Republic of Indonesia will take, in accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Indonesia, necessary measures to meet:

- (1) Expenses necessary for the transportation within the Republic of Indonesia as well as for the installation, operation and maintenance thereof;
- (2) Customs duties, internal taxes and any other charges imposed in the Republic of Indonesia.

3.



3. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Indonesia, the Government of the Republic of Indonesia will take necessary measures to meet all operating expenses necessary for the implementation of the Project.

#### VII. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

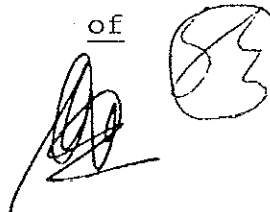
1. The Ministry of Manpower and Transmigration, represented by the Director General of Manpower Development and Utilization, and the Ministry of Industry, represented by the Director General of Small Industry, will bear overall responsibility for the implementation of the Project.

2. For the smooth and effective implementation of the Project, the Joint Committee with the function and composition as referred to in Annex VI will be established.

3. The Project Coordinator of CEVEST, as the Head of the Project, will be responsible for the administrative and managerial matters of the Project. The Project Officer, as the Head of Department, will deal with training programmes and technical matters of respective Department.

4. The Japanese Chief Advisor will provide necessary recommendation and advise on technical and administrative matters concerning the implementation of the Project to the Project Coordinator of CEVEST in close consultation with the representative of Japanese experts of each Department. The representative

of



of Japanese experts of each Department will coordinate the Japanese experts assigned to respective Department and advise the Project Officer concerning training programmes and technical matters of respective Department.

5. The organizational chart of CEVEST Project is as referred to in Annex VII.

VIII. INTERNATIONAL CHARACTERISTICS OF CEVEST AS A PART OF THE ASEAN HUMAN RESOURCES DEVELOPMENT PROJECT

1. While the content of the programme is to be decided jointly by JICA and CEVEST, with due consideration to the development of adequate capacity for its purpose, CEVEST is to be opened to nationals of all ASEAN member countries through regional training programmes to be formulated in the future.

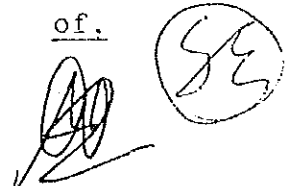
The Government of Japan, through JICA, is ready to cooperate in the implementation of such regional programmes.

2. Due consideration will be paid to appropriate linkage at the programme level between CEVEST and the International Center (tentatively named) in Okinawa, which is to perform the function of liaison and back-up services to National Centers.

IX. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

The Government of the Republic of Indonesia undertakes to bear claims, if any arises, against the Japanese experts engaged in the Project resulting from, occurring in the course

of.

A handwritten signature is written below the word "of.". To the right of the signature is a circular stamp containing the letters "SE".

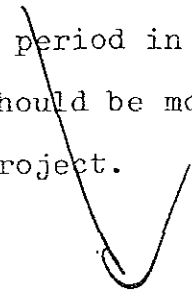
of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in the Republic of Indonesia except for those arising from the wilful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

X. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between the two Governments on any major issues arising from, or in connection with this Attached Document.

XI. TERM OF COOPERATION

The duration of the technical cooperation for the Project under this Attached Document will be five (5) years from the date of the signing of this Record of Discussions. However, there will be a general review by the Joint Committee on the progress of the implementation of the Project during the second year of the cooperation period in order to assess whether the term of cooperation should be modified for the successful implementation of the Project.



ANNEX I Master Plan

1. Objectives of the Project

- (1) CEVEST, to be established under the ASEAN Human Resources Development Project, will be the national institution for the training of vocational training instructors and extension service workers destined to teach at training institutions and small and middle enterprises throughout the country.
- (2) CEVEST, as the ASEAN Human Resources Development Project in Indonesia, is hoped to strengthen and accelerate cooperation among ASEAN countries through the diffusion of innovative and appropriate technology for vocational and extension service training in the region.
- (3) CEVEST shall be composed of two Departments:
  - (i) Vocational Training Department
  - (ii) Extension Service Training Department

2. Objectives of the Technical Cooperation Programme

The objectives of the Japanese technical cooperation programme during the term of cooperation are:

(1)



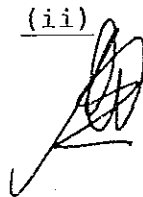
(1) Vocational Training Department

- (i) To provide and conduct training courses for fostering qualified assistant instructors for public vocational training facilities.  
(Instructor Training Type I and Type II)
- (ii) To provide and conduct training courses for upgrading/retraining incumbent instructors of public vocational training facilities according to their levels of expertise. (Upgrading/Retraining)
- (iii) To provide and conduct training courses for training potential and incumbent directors of vocational training facilities. (Director Training)
- (iv) To provide and conduct training courses for training vocational instructors, training officers, and training managers of enterprises including private vocational training institutions.  
(Training for Instructors of Enterprises)
- (v) To conduct research and development essential for establishing an effective national vocational training system and policies.

(2) Extension Service Training Department

- (i) To provide and conduct training courses for extension service workers, entrepreneurs and government officials.

(ii)

A handwritten signature and initials are present. The signature is a cursive name, and the initials are 'S' and 'E' written in a stylized, overlapping manner. A large checkmark is drawn over the signature area.A circular stamp containing the handwritten initials 'S' and 'E'.



- (ii) To enhance surveys on small industries development activity in selected areas.
- (iii) To enhance guidance, consultation and advisory service activities for small industries.

3. Framework of the activities of CEVEST

The framework of the activities of CEVEST to be covered by the technical cooperation of the Government of Japan is as shown in the following tables.

84

(1) VOCATIONAL TRAINING DEPARTMENT

(a) Training courses

FIELD	COURSE	INSTRUCTOR TRAINING		UPGRADING / RETRAINING				DIRECTOR TRAINING	TRAINING FOR INSTRUCTORS OF ENTERPRISES
		TYPE I	TYPE II	ASSISTANT INSTRUCTOR ↓ JUNIOR INSTRUCTOR	JUNIOR INSTRUCTOR ↓ INSTRUCTOR	INSTRUCTOR ↓ SENIOR INSTRUCTOR	INSTRUCTOR		
Machining	Machining	20		15	11	8			
	Welding	20		15	11	8			
	Sheet Metal	10		7	5	4			
Auto-motive	Automobile Repairing	45		33	24	18			
Electric Work	Electricity	20		15	11	8			
	Electronics	30		22	16	12			
Total		145	230	107	78	58	120	400	
Remarks	Duration	2 years	4 months	3 months	3 months	3 months	2 months	1-2 weeks or more	
	Frequency of Recruitment	once a year	3 times a year	once a year	once a year	once a year	several times a year	about 20 times a year	
	Entrance Requirements	high school education with at least two years of related experience or academy education	enough skills and knowledge on the trade	over 5 years of experience as an assistant instructor	over 5 years of experience as a junior instructor	over 5 years of experience as an instructor	incumbent or potential director of a vocational training facility	instructor, training officer, or manager of a enterprise	
Others		Lectures on training methodology and teaching practice only							

(ii) Research and Development

Subjects of research and development activities			
a. Training methods and standardization of training curricula and facilities for vocational training	b. Training materials including audio-visual aids	c. Evaluation and certification of trade skill standards	d. Basic studies with a view to providing necessary information for national policy making on vocational training

84

(2) EXTENSION SERVICE TRAINING DEPARTMENT

(i) Training Course

Courses	Enroll-ment	Duration	Annual number of courses	Qualification of trainees	Contents
1. TPL Generalist	30 - 35 persons	2 months	3 courses	Those who have graduated from high school, Academy and University or with equivalent ability.	(1) Duty of extension service worker (2 days) (2) Basic knowledge of extension service worker (9 days) (3) Accounting business and personnel management of small industries (29 days) (4) Field study (10 days) (5) others
2. TPL Specialist (Functional)	30 - 35 persons	3 months	10 - 12 courses	Those personnel who have about two years experiences as TPL or with equivalent experience and ability.	(1) Methodology of finding the actual situation of the management of small industries (20 days) (2) Financing of small industries (35 days) (3) Management of quality control and process control (including field study) (20 days)
3. Trainer	30 - 35 persons	4 months	3 - 4 courses	Those personnel who have more than two years experiences as TPLS or with equivalent experience and ability.	(1) Management planning and utilization of related information (42 days) (2) Essential points necessary for the guidance of industries (30 days) (3) Marketing strategy (13 days) (4) Teaching method and field training (15 days)
4. Entrepreneur	30 persons	3 - 4 weeks	20 courses	Entrepreneurs from the priority sub-sectors of small industries	(1) Achievement motivation training (2) Socio-economic situation of industries concerned (sector-wise) (3) Basic and practical knowledge required of entrepreneurs (4) Management of stocking, inventory and sales (5) Marketing (6) Personnel management and leadership
Others					
5. Officials	Necessary training courses will be organized as necessity arises.				

(With respect to the contents of training programme, some minor modification may be made in the course of the preparation and implementation of the project.)

(ii) Surveys

Subjects of survey on small industries development activities			
a. Statistical survey on small industries	b. Production process development of small industries	c. Marketing system of small industry products	d. Trend of consumption of small industry products

(iii) Guidance, Consultation and Advisory Service Activity

Activity	Objective
a. Diagnosis conducted by extension service workers	To solve the problems with respect to management and production process of clusters and individual small industries.
b. Seminars and symposia	To develop entrepreneurship of small industries.
c. Updating and publication of necessary instruction manuals	To improve the activity of extension service workers.
d. Consultancy and advisory services	To solve the problem of the regional small industry development centers (PPIK) by sending roving teams from CEVEST and to cover problems such as the promotion of subcontracting system of small industries.

ANNEX II Japanese Experts

1. Chief Advisor
2. Coordinator
3. Experts in the fields of:
  - (1) Vocational Training Department
    - (i) Materials/Curricula/Methods/Programmes
    - (ii) Skill Evaluation/Certification
    - (iii) Machining
    - (iv) Welding
    - (v) Sheet Metal
    - (vi) Pipe Fitting
    - (vii) Automobile Repairing
    - (viii) Electricity
    - (ix) Airconditioning/Refrigeration
    - (x) Electronics
  - (2) Extension Service Training Department
    - (i) Planning and Management of Training
    - (ii) Development of Teaching Materials
    - (iii) Surveys and Analyses
    - (iv) Planning and Management of Guidance and Consultation
    - (v) Promotion of Subcontracting in Small Industries

Note: Short-term experts may be dispatched when necessity arises, for the smooth implementation of the Project.

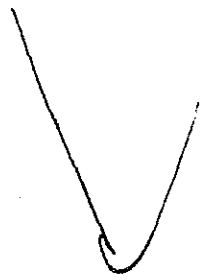
ANNEX III



ANNEX III List of Equipment

List of main articles to be provided by the Government of Japan will be as follows:

1. Vocational Training Department
  - (1) machining equipment
  - (2) welding equipment
  - (3) sheet metal equipment/pipe fitting equipment
  - (4) automobile repairing equipment
  - (5) electricity equipment
  - (6) electronics equipment
  - (7) equipment for research and development
  - (8) audio-visual equipment
  - (9) others
2. Extension Service Training Department
  - (1) equipment for surveys and development
  - (2) audio-visual equipment
  - (3) equipment for practical training  
(including low cost automation machinery set)
  - (4) vehicles
  - (5) others



ANNEX IV List of Indonesian Counterpart Personnel and  
Administrative Personnel

1. Project Coordinator
2. Deputy
3. Project Officers
4. Counterpart Personnel
  - (1) Vocational Training Department
    - (i) Methods/Curricula/Programmes
    - (ii) Training Materials
    - (iii) Skill Evaluation/Certification
    - (iv) Basic Studies
    - (v) Machining
    - (vi) Welding
    - (vii) Sheet Metal
    - (viii) Pipe Fitting
    - (ix) Automobile Repairing
    - (x) Electricity
    - (xi) Airconditioning/Refrigeration
    - (xii) Electronics
    - (xiii) Instructor Training Type II
    - (xiv) Director Training
    - (xv) Training for Instructors of Enterprises



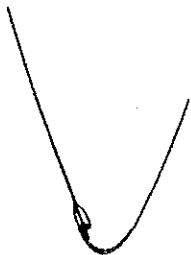
(2) Extension Service Training Department

- (i) Division Chief and Section Chiefs of Extension Service Training
- (ii) Division Chief and Section Chiefs of Study and Survey Development
- (iii) Division Chief and Section Chiefs of Entrepreneur Managerial Development
- (iv) Division Chief and Section Chiefs of Guidance and Consulting

5. Administrative Personnel

- (i) Administration
- (ii) Accounting
- (iii) Clerical work

6. Other necessary personnel



ANNEX V List of Land, Building and Facilities

1. Land

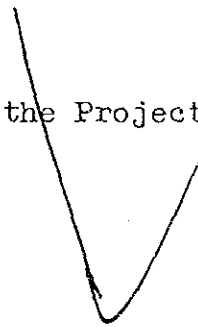
Bekasi, JAWA

2. Building

Buildings necessary for the implementation of the Project other than those provided under the grant aid scheme of the Government of Japan.

3. Facilities

Facilities necessary for the Project, such as supply of electricity, water, etc.



Handwritten initials 'SE' enclosed within a hand-drawn circle.

A handwritten signature, appearing to be 'A. A.', written in a cursive style.

ANNEX VI

ANNEX VI Joint Committee

1. Functions


The Joint Committee will meet at least once a year and whenever necessity arises, and work:

- (1) To formulate the annual operational plan of the Project in line with the Tentative Schedule of Implementation set up under the framework of this Record of Discussions;
- (2) To review the overall progress of the technical cooperation programme set out in this Record of Discussions as well as the achievements of the above-mentioned annual operational plan;
- (3) To review and exchange views on major issues arising from, or in connection with the technical cooperation programme.

2. Composition

- (1) Indonesian Side:
  - (a) Director General of Manpower Development and Utilization;
  - (b) Director General of Small Industry;
  - (c) Project Coordinator;
  - (d) Representatives of Indonesian authorities concerned.



(2)  


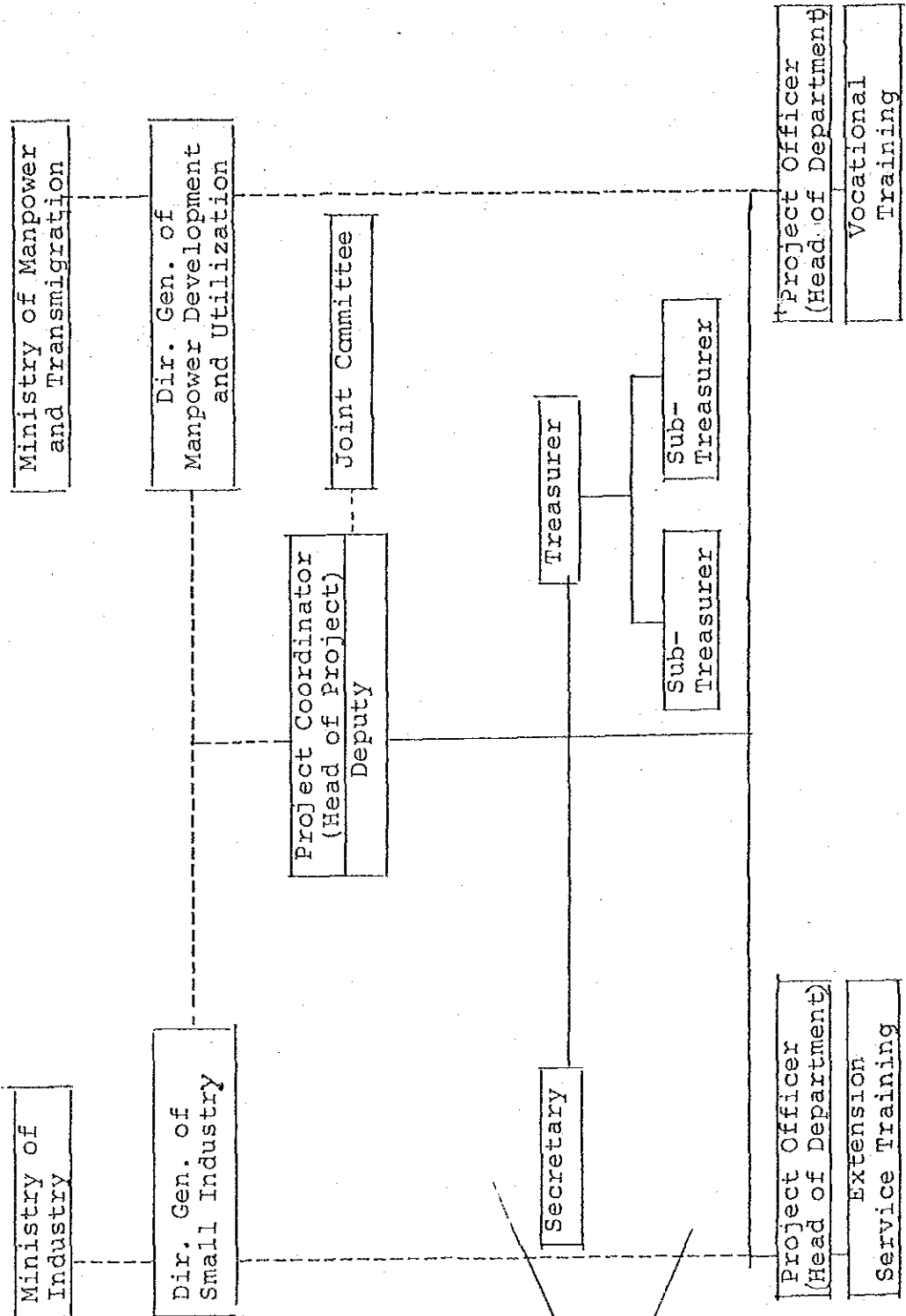
(2) Japanese Side:

- (a) Chief Advisor;
- (b) Representative of each Department;
- (c) Representative of JICA in Indonesia;
- (d) Coordinator;
- (e) Personnel concerned to be dispatched by  
JICA if necessary.

Note: Officials of the Embassy of Japan may attend  
the Joint Committee as observers.



ANNEX VII THE ORGANIZATION CHART OF CEVEST PROJECT



(58)



Ⅷ. 暫 定 実 施 計 画

( T S I : T e n t a t i v e S c h e d u l e o f I m p l e m e n t a t i o n )

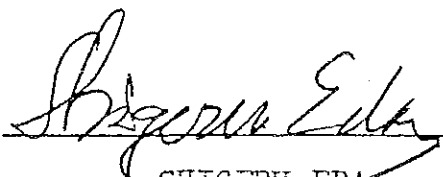


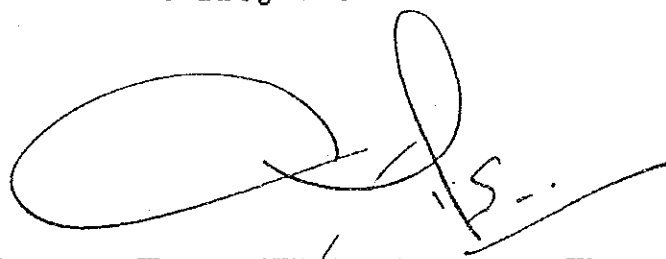


1. 職業訓練部門

Tentative Schedule of  
Implementation of Center for  
Vocational and Extension Service Training  
(CEVEST)

The Japanese Implementation Survey Team and the Ministry of Manpower and Transmigration have jointly formulated the Tentative Schedule of Implementation of the Project as annexed hereto. This has been formulated in connection with I-2 of the Attached Document of the Record of Discussions signed between the Japanese Implementation Survey Team and Indonesian authorities concerned for the Center for Vocational and Extension Service Training on the conditions that necessary budget will be allocated for the implementation of the Project by both sides, and that the Schedule is subject to change within the framework of Record of Discussions when necessity arises in the course of implementation of the Project.

  
SHIGERU EDA  
Leader  
Implementation Survey Team,  
Japan International  
Cooperation Agency  
Japan

  
DANANG D. JOEDONAGORO  
Director General of  
Manpower Development  
and Utilization,  
Ministry of Manpower  
and Transmigration,  
The Republic of Indonesia

TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION

Item	1983			1984			1985			1986			1987			88
	1	4	7	10	12	1	4	7	10	12	1	4	7	10	12	
Term of Cooperation																
Building Construction																
1. Training Courses																
a. Instructor Training (Type I)																
b. Instructor Training (Type II)																
c. Upgrading/Retraining																
d. Director Training																
e. Training for Instructors of Enterprises																
2. Research and Development																
Building Construction																
1. (Other than those provided by the Government of Japan)																
2. Preparation of acceptance for Japanese Exports																
3. Recruitment of Counterparts																
4. Recruitment of Trainees																
a. Instructor Training (Type I)																
b. Instructor Training (Type II)																
c. Upgrading / Retraining																
d. Director Training																
e. Training for Instructors of Enterprises																
5. Provision of Operational Expenses																
6. Preparation of acceptance for Machinery and Equipment																
Indonesian Side																
a. (Half Capacity)																
b. (Half Capacity)																
c. (Half Capacity)																
d. (Operational Stage)																

38

Year	1983			1984			1985			1986			1987			Log.		
	1	4	7	10	13	16	1	4	7	10	12	15	1	4	7		10	12
Dispatch of Japanese																		
1. Experts																		
A. Long-Term Experts																		
(a) Chief Advisor																		
b. Methods/Programmes																		
c. Skill Education/ Certification																		
d. Machining																		
e. Welding																		
f. Sheet Metal																		
g. Pipe Fitting																		
h. Automobile Repairing																		
i. Electricity																		
j. Airconditioning/ Refrigeration																		
k. Electronics																		
B. Short-Term Experts																		
2. Training of Indonesian Personnel in Japan																		

35

Foot Note: 1. This schedule is subject to conditions that necessary budget will be acquired for the implementation of the project.  
 2. This scope of Technical Cooperation is subject to change within the scope of the provisions given in the Record of Discussions.  
 3. One coordinator for the CEVEST Project will be dispatched at the earliest appropriate time.

STAFFING PLAN OF CEVEST PROJECT (VOCATIONAL TRAINING) (A)

	83/84	84/85	85/86	86/87	87/88
1. PROJECT COORDINATOR/DEPUTY	2 (2)	2 (-)	2 (-)	2 (-)	2 (-)
2. PROJECT OFFICER	1 (1)	1 (-)	1 (-)	1 (-)	1 (-)
3. DIVISION CHIEF	-	4 (4)	4 (-)	4 (-)	4 (-)
4. CHIEF INSTRUCTOR	8 (8)	8 (-)	9 (1)	10 (1)	10 (-)
5. SENIOR INSTRUCTOR	-	9 (9)	21 (12)	23 (2)	23 (-)
6. OTHER INSTRUCTOR	-	16 (16)	28 (12)	30 (2)	30 (-)
7. GENERAL SUBJECT TEACHER	-	7 (7)	7 (-)	7 (-)	7 (-)
8. CHIEF RESEARCHER	4 (4)	4 (-)	4 (-)	4 (-)	4 (-)
9. RESEARCHER	-	4 (4)	9 (5)	9 (-)	9 (-)
10. ADMINISTRATIVE PERSONNEL	8 (8)	30 (22)	30 (-)	30 (-)	30 (-)
11. OTHERS (GUARD, GARDENER, STORAGE KEEPER, JANITOR, ETC.)	5 (5)	25 (20)	25 (-)	25 (-)	25 (-)
TOTAL (NEW RECRUITS)	28 (28)	110 (82)	140 (30)	145 (5)	145 (-)

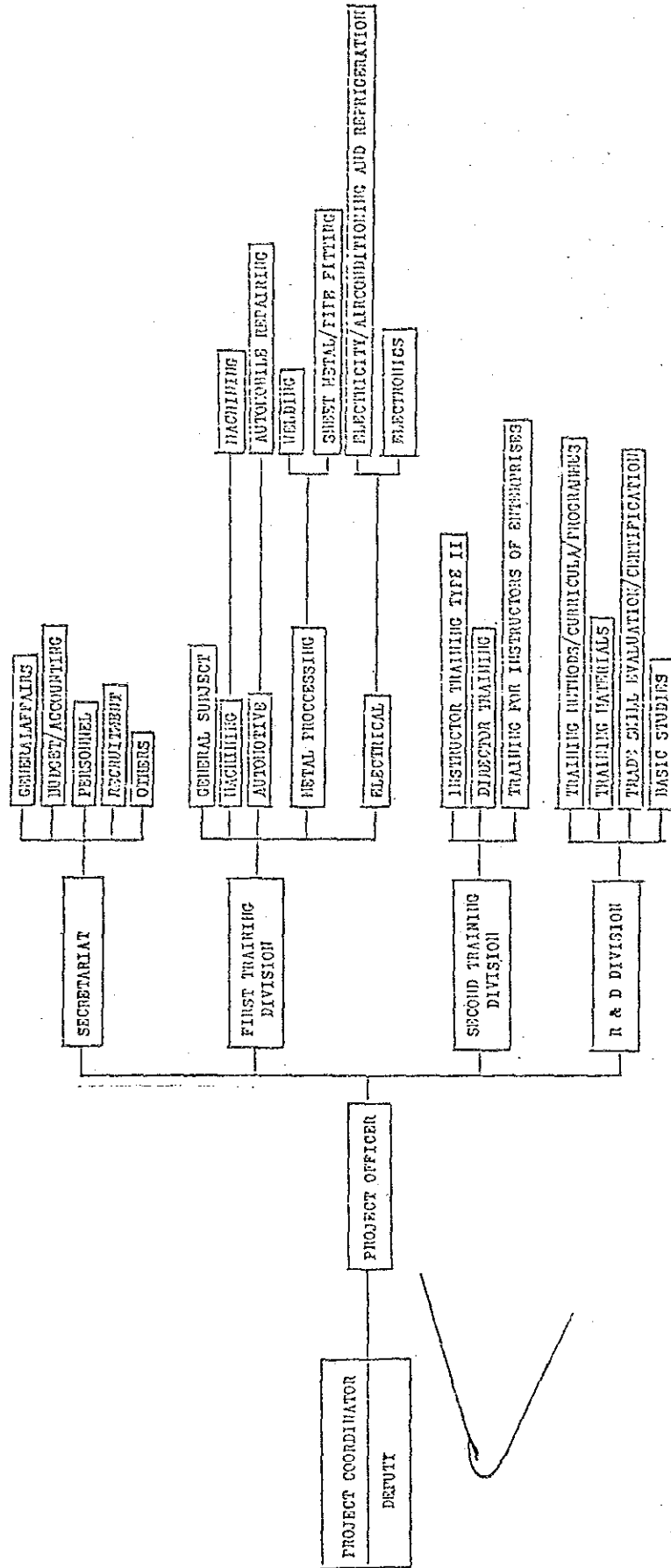
STAFFING PLAN OF CEVEST (B)  
( VOCATIONAL TRAINING )

DIVISION	DIVISION CHIEF (III A)	FUNCTION	INDONESIA COUNTERPARTS			TOTAL	
			CHIEF INSTRUCTOR	SENIOR INSTRUCTOR	INSTRUCTOR/JUNIOR INSTRUCTOR		
SECRETARIAT	1	General Affairs	-	-	-	30	
		Budget/Accounting	-	-	-		
		Personnel	-	-	-		
		Recruitment	-	-	-		
		Others	-	-	-		
1ST TRAINING DIVISION	1	General Subject	-	-	-	7	
		Mechanical Machining	1	2	3	6	
		Automotive	Gas	1	2	4	13
			Diesel	-	2	4	
		Metal Process	Welding	1	2	3	6
			Sheet Metal	1	2	2	5
			Pipe Fitting	1	2	2	5
		Electrical	Electrical Wiring/Appliances	1	2	2	5
			AC/Refrigeration	1	2	2	5
			Electronic Appliances	1	1	3	8
		Industrial Electronic	-	-	3		
2ND TRAINING DIVISION	1	Instructor Training Type II	1	2	2	5	
		Director Training	1	2	-	5	
		Training for Instructor of Enterprises	-	2	-		
RESEARCH AND DEVELOPMENT	1	Method/Curriculum/Program	Chief Researcher 1	Researcher 2	-	3	
		Training Materials	1	3	-	4	
		Evaluation/Certification	1	2	-	3	
		Basic Studies	1	2	-	3	
TOTAL	4 (C)	-	14	32	30	138 (D)	
					GRAND TOTAL (A+B+C+D)	145	

83

ORGANIZATIONAL CHART OF CEVEST

( VOCATIONAL TRAINING DEPARTMENT )

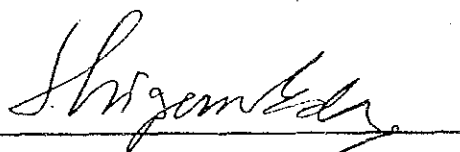


38

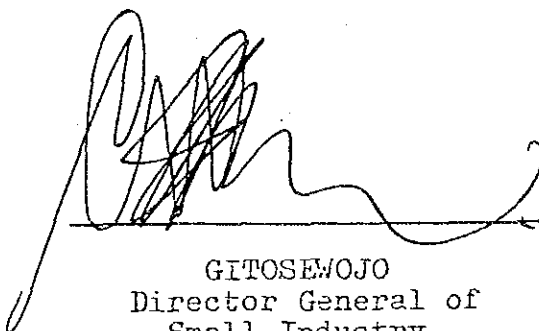
2. 小規模工業部門

Tentative Schedule of  
Implementation of Center for  
Vocational and Extension Service Training  
(CEVEST)

The Japanese Implementation Survey Team and the Ministry of Industry have jointly formulated the Tentative Schedule of Implementation of the Project as annexed hereto. This has been formulated in connection with I-2 of the Attached Document of the Record of Discussions signed between the Japanese Implementation Survey Team and Indonesian authorities concerned for the Center for Vocational and Extension Service Training on the conditions that necessary budget will be allocated for the implementation of the Project by both sides, and that the Schedule is subject to change within the framework of Record of Discussions when necessity arises in the course of implementation of the Project.



SHIGERU EDA  
Leader  
Implementation Survey Team,  
Japan International  
Cooperation Agency  
Japan



GITOSEWOJO  
Director General of  
Small Industry,  
Ministry of Industry,  
The Republic of Indonesia

ANNEX I

TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION

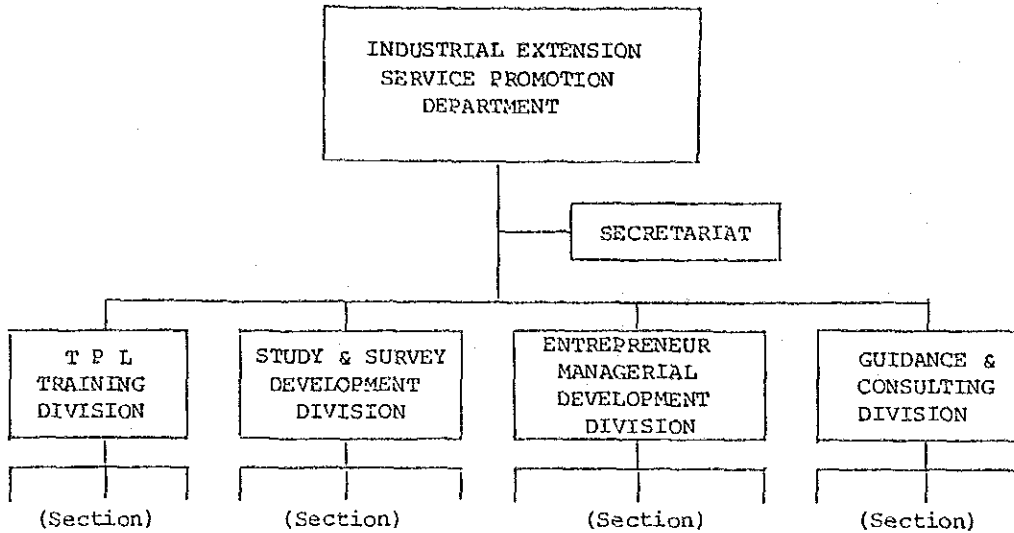
ITEMS	CALENDAR YEAR																				
	1983		1984			1985			1986			1987			1988						
	1	4	7	10	12	1	4	7	10	12	1	4	7	10	12	1	4	7	10	12	
Term of Cooperation																					
Building Construction																					
I. Training courses																					
1. Generalist																					
2. Specialist																					
3. Trainer																					
4. Others																					
II. Surveys and analyses																					
III. Planning and management of guidance and consultation																					
IV. Promotion of subcontracting in small industries																					
(1) Building construction (Other than those to be provided by the Government of Japan)																					
(2) Preparation for acceptance of Japanese experts																					
(3) Preparation for training of counterpart personnel in Japan																					
(4) Arrangement of counterpart personnel																					
(5) Recruitment of trainees																					
(6) Provision of operational expenses																					
(7) Preparation for acceptance of machinery and equipment																					
I. Dispatch of Japanese experts																					
A. Long-term experts																					
(1) Planning and management of training																					
(2) Development of teaching materials																					
(3) Surveys and analyses																					
(4) Planning and management of guidance and consultation																					
(5) Promotion of subcontracting in small industries																					



B. Short-term experts in the field of (1)(2)(3)(4)(5) above and others	Short-term experts may be dispatched if necessity arises. (Number and duration of those experts will be agreed upon in the course of the implementation of the project.)	Short-term experts may be dispatched if necessity arises. (Number and duration of those experts will be agreed upon in the course of the implementation of the project.)	Short-term experts may be dispatched if necessity arises. (Number and duration of those experts will be agreed upon in the course of the implementation of the project.)	Short-term experts may be dispatched if necessity arises. (Number and duration of those experts will be agreed upon in the course of the implementation of the project.)
II. Training of Indonesian personnel in Japan	Several persons every year	Several persons every year	Several persons every year	Several persons every year

Foot note: 1. This schedule is subject to conditions that necessary budget will be acquired for the implementation of the Project.  
 2. This scope of technical cooperation is subject to change within the scope of the provisions given in the Record of Discussions.  
 3. One Coordinator for the CEVEST Project will be dispatched at the earliest appropriate time.

ANNEX II STAFFING PLAN



NO.	NAME OF POSITION	NUMBER OF OFFICIAL	NUMBER OF SUPPORTING STAFF
1.	Project Coordinator/Deputy	= 1 Person	3 P.M.
2.	Secretariat	= 3 Persons	5 * )
3.	Industrial Extension Service Promotion Dept.	= 4 Persons	
4.	Treasurer	= 3 Persons	9 ** )
5.	Secretariat of Industrial Extension Service Promotion Dept.	= 4 Persons	
6.	TPL Training Div.	= 4 Persons	12 *** )
7.	Entrepreneur Managerial Development Div.	= 4 Persons	12 *** )
8.	Study & Survey Development Div.	= 4 Persons	12 *** )
9.	Guidance & Consulting Div.	= 4 Persons	12 *** )
		31 Persons	65 Persons (P.M.)

NOTE :

- \* ) Staff 3 Persons  
Service 2 Persons
- \*\* ) Typist 3 Persons  
Staff 6 Persons
- \*\*\* ) Typist 3 Persons  
Staff 8 Persons  
Service 1 Person

# Ⅸ. 技術協カスケジュール及びCEVEST運営管理体制（参考）

## 1. 技術協カスケジュール

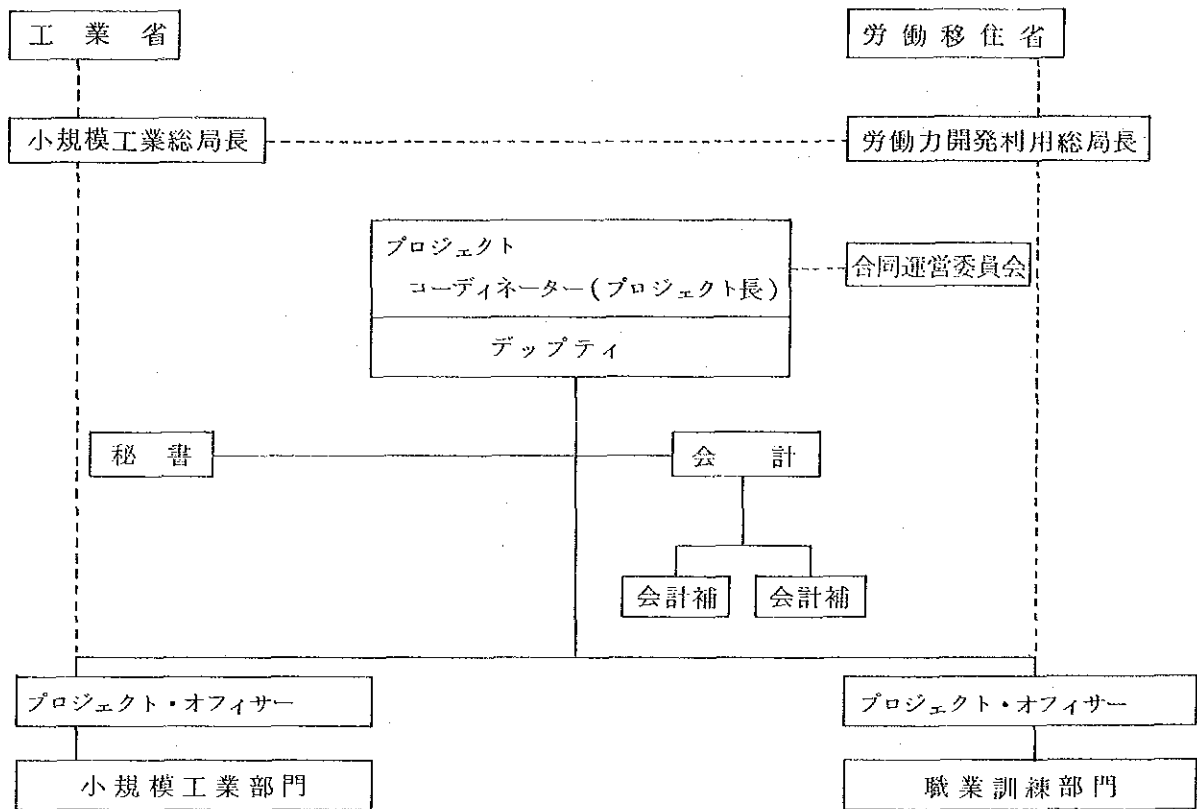
### (1) 全体スケジュール

項目	年		1983				1984				1985				1986				1987				1988	
	月		1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	3
協力期間																								
職業訓練指導員養成部門	1. 訓練コース																							
	a. 指導員訓練タイプⅠ																							
	b. " タイプⅡ																							
	c. 向上訓練/再訓練																							
	d. 校長訓練																							
	e. 事業内指導員等訓練																							
	2. 職訓部門研究・開発																							
	1. 施設建設(寮・職員宿舎等)																							
	2. 専門家受入準備																							
	3. スタッフ採用																							
	4. 訓練生募集																							
	a. 指導員訓練タイプⅠ																							
	b. " タイプⅡ																							
	c. 向上訓練/再訓練																							
	d. 校長訓練																							
e. 事業内指導員等訓練																								
5. 運営管理費用の確保																								
6. 機材受入準備																								
日本側協力																								
専門家派遣																								
長期専門家																								
短期 "																								
カウンターパート受入																								
小規模工業普及員養成部門																								
1. 研修コース																								
a. ジェネラリスト																								
b. スペシャリスト																								
c. トレーナー																								
d. その他																								
2. 調査・分析																								
3. 指導・相談企画運営																								
4. 下請企業育成																								
施設建設(寮・職員宿舎等)																								
専門家受入準備																								
カウンターパート研修準備																								
スタッフ採用																								
研修生募集																								
運営管理費用の確保																								
機材受入準備																								
日本側協力																								
専門家派遣																								
長期専門家																								
短期専門家																								
カウンターパート受入																								
無償援助スケジュール																								
・設計・入札																								
・建設																								



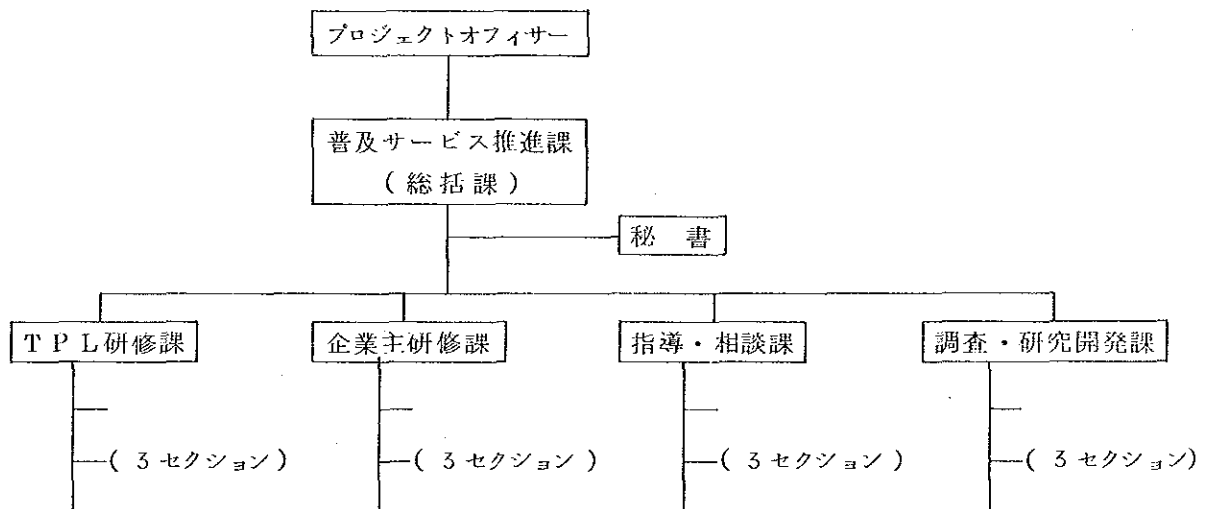
2. CEVEST 運営管理体制及びスタッフ配置計画

(1) 全体組織図 ( R/D 記載組織図より )

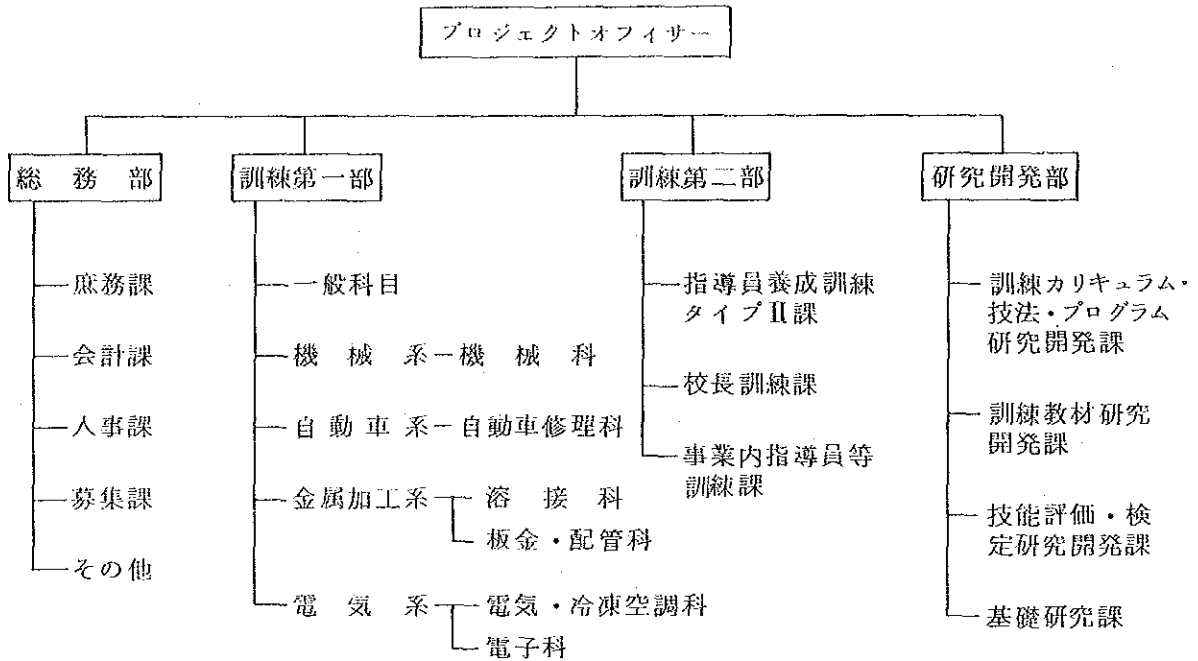


(2) 部門組織図 ( T S I スタッフینگプランより )

・小規模工業部門



・職業訓練部門



(3) スタッフ配置計画 ( T S I スタッフイングプランより )

・小規模工業部門

担当部課	三スタッフ	補佐スタッフ
プロジェクト・コーディネーター/デュプティ	1	( 3 )
秘書	3	( 5 )
普及サービス推進課	4	
会計	3	( 9 )
普及サービス推進課秘書	4	( 12 )
T P L 研修課	4	( 12 )
企業主研修課	4	( 12 )
調査・研究開発課	4	( 12 )
指導・相談課	4	( 12 )
計	31	( 65 )

・職業訓練部門

部 課	部 長 (III A)	機 能		インドネシア カウンターパート			計
				チーフ インストラクター	シニア インストラクター	インストラクター ジュニア インストラクター	
総務部	1	庶務		—	—	—	) 30
		会計		—	—	—	
		人事		—	—	—	
		募集		—	—	—	
		その他		—	—	—	25
訓練第一部	1	一般		—	—	—	7
		機械	機械	1	2	3	6
			自動車	ガソリン	1	2	
				ディーゼル		2	4
		金属加工	溶接	1	2	3	6
			板金	1	2	2	5
			配管	1	2	2	5
		電気	電気配線	1	2	2	5
			エアコン/ 冷蔵庫	1	2	2	5
			電子	1	1	3	8
工学電子				3			
訓練第二部	1	指導員養成訓練タイプII		1	2	2	5
		校長訓練		1	2	—	5
		事業内指導員訓練			2	—	
研究開発部	1	訓練カリキュラム・ 技法・プログラム研 究開発		Chief Researcher	Researcher	—	3
				1	2	—	
		訓練教材研究・開発		1	3	—	4
		評価 / 検定		1	2	—	3
基礎研究		1	2	—	3		
1	計	4 (C)		14	32	30	138 (D)
						GRAND TOTAL (A+B+C+D)	145

スタッフ年次採用計画（職訓部門）

	83/84	84/85	85/86	86/87	87/88
1. プロジェクトコーディネーター/デプティ	2 (2)	2 (—)	2 (—)	2(—)	2(—)
2. プロジェクトオフィサー	1 (1)	1 (—)	1 (—)	1(—)	1(—)
3. 部長	—	4 (4)	4 (—)	4(—)	4(—)
4. チーフ・インストラクター	8 (8)	8 (—)	9 (1)	10(1)	10(—)
5. ツニア・インストラクター	—	9 (9)	21(12)	23(2)	23(—)
6. その他 インストラクター	—	16(16)	28(12)	30(2)	30(—)
7. 一般科目講師	—	7 (7)	7 (—)	7(—)	7(—)
8. 主任研究員	4 (4)	4 (—)	4 (—)	4(—)	4(—)
9. 研究員	—	4 (4)	9 (5)	9(—)	9(—)
10. 管理スタッフ	8 (8)	30(22)	30 (—)	30(—)	30(—)
11. その他	5 (5)	25(20)	25 (—)	25(—)	25(—)
計 (新規採用)	28(28)	110(82)	140(30)	145(5)	145(—)



## X. 資 料

1. 団長挨拶 (R/D署名に際して)
2. 新聞発表 (プレス・リリース)



1. 団長挨拶 ( R/D署名に際して )

ADDRESS BY MR. SHIGERU EDA, LEADER OF  
THE IMPLEMENTATION SURVEY TEAM, CEVEST

(Thank you Mr. Chairman,)

It is my great pleasure to say few words on behalf of the Government of Japan at this historical occasion of the signing of the Record of Discussions on the Japanese technical cooperation for the CEVEST project.

This project was, as we know, proposed by the former Japanese Prime Minister, Mr. Zenko Suzuki during his visit to the ASEAN countries in January, 1981 in accordance with the basic idea that human resources development is indispensable for the national development. Since his proposal for the project, there has been a long way to come. The discussions between the two Governments were heated sometimes, but the enthusiasm to make CEVEST a better project always enabled to find a solution with mutual understanding.

Those efforts of the people concerned in both sides have culminated in the signing of the Record of Discussions in front of us today. Surely this paves the way to strengthen the cooperation between the two Governments.

And with the start of technical cooperation by this Record of Discussions, much more efforts should be taken than ever. In this respect, I would sincerely hope close collaboration between the two Ministries in Indonesia continues as has been the case so far.

Each national center of the ASEAN Human Resources Development Project commonly reflects the individual national needs of each ASEAN country. The establishment of CEVEST is specifically expected to contribute to the development of Indonesia by meeting her demands for skilled manpower and for the promotion of small industries. In this sense, we are very honoured to have taken part in its preparation as officials who devote to the same fields of activities in Japan.

I am convinced that this project will further strengthen the close relationships between the Republic of Indonesia and Japan as well as among ASEAN countries and Japan in future.

In closing my address, I would like to express my sincere appreciation again to Mr. Danang, Mr. Gitosewojo, all who are present here and everybody who took part in the preparation for the CEVEST Project, especially those who

worked so hard behind the scenery without whose efforts this project would have not been materialized.

Thank you.

Technical Cooperation between the Government of the  
Republic of Indonesia and the Government of Japan  
on the Center for Vocational and Extension Service  
Training (CEVEST), ASEAN Human Resources Development  
Project

The Japanese mission organized by the Japan International Cooperation Agency (JICA) and headed by Mr. Shigeru Eda, Director-General, Statistics and Information Department, Ministry of Labour, visited Indonesia for the purpose of working out the details of the technical cooperation programme on CEVEST, the ASEAN Human Resources Development Project in Indonesia. The Project was proposed by Mr. Zenko Suzuki, former Prime Minister of Japan, during his visit to the ASEAN countries in January, 1981.

As a result of the discussions, the mission and the Indonesian authorities concerned finalized the technical cooperation programme of CEVEST and signed the Record of Discussions this morning.

The Directorate General of Manpower Development and Utilization, the Ministry of Manpower and Transmigration and the Directorate General of Small Industry, the Ministry of Industry will establish, with the assistance of the Japanese Government, CEVEST in Bekasi which has the main objectives of providing training for potential and incumbent vocational training instructors and small industry extension service workers. CEVEST will be composed of two departments, i.e. vocational training and extension service training, and will provide a variety of training courses and undertake other related activities in each department as shown in ANNEX.

The assistance of Japanese Government for CEVEST, amounting to approximately 4 billion Yen will be given in the forms of grant aid (such as construction of buildings, and provision of machinery and equipment) and technical cooperation (such as dispatch of experts, acceptance of trainees, etc.). The Record of Discussions provides the scope of the Japanese technical cooperation. The discussions for the grant aid is expected to be officially concluded in due course. With this cooperation between the two Governments, CEVEST is expected to come into full-fledged operation in April, 1985.

It is hoped that CEVEST will contribute not only to meeting the urgent needs of Indonesia for the supply of skilled manpower and for the promotion of

small industries but also to further strengthening the close relationships between the Republic of Indonesia and Japan as well as among ASEAN countries and Japan.

ANNEX

Proposed Activities in CEVEST

1. Vocational Training Department

(1) Training Courses

- a. Instructor Training Type I (2 year training)
- b. Instructor Training Type II (4 month training)
- c. Upgrading/Retraining of Instructors
- d. Training for Directors of Vocational Training Facilities
- e. Training for Instructors of Enterprises.

NOTE: The courses of a. and c. above will have six trade areas: machining, welding, sheet metal/pipe fitting, automobile repairing, electricity/airconditioning and refrigeration, and electronics.

(2) Research and Development Subjects

- a. Training Methods/Curricula/Programmes
- b. Training Materials
- c. Trade Skill Evaluation/Certification
- d. Basic Studies

2. Extension Service Training Department

(1) Training Courses

- a. TPL (Extension Service Worker) Generalist Course
- b. TPL (Extension Service Worker) Specialist Course
- c. Trainer Course
- d. Entrepreneur Course
- e. Officials Course

(2) Surveys

- a. Statistics
- b. Production Process
- c. Marketing System
- d. Trend of Consumption

(3) Guidance, Consultation and Advisory Service Activities

- a. Diagnosis
- b. Seminars and Symposia

- c. Publication of Instruction Manuals
- d. Consultancy and Advisory Services
- e. Promotion of Subcontracting



ASEAN人造りプロジェクト、職業訓練指導員・小規模工業普及員  
養成センター（CEVEST）に関する日本政府及びインドネシア政  
府間の技術協力について

労働省江田茂統計情報部長を団長とする、国際協力事業団（JICA）派遣の実施協議チームは、インドネシアにおける「ASEAN人造りプロジェクト」である職業訓練指導員・小規模工業普及員養成センターの設立に関する詳細な技術協力計画を作成するため、インドネシア国を訪問した。

本プロジェクトは、鈴木前総理が1981年1月にASEAN各国を歴訪した際に提唱したものである。

本実施協議チーム及びインドネシア政府は、討議の結果、職業訓練指導員・小規模工業普及員養成センターに関する技術協力計画を作成し、本日午前、討議議事録に署名した。

労働移住省労働力開発利用総局及び工業省小規模工業総局は、日本政府の協力の下で、職業訓練指導員及び小規模工業普及員の訓練を主な目的とする「CEVEST」を西ジャワ州ブカシ市に設立する。

同センターは、職業訓練及び小規模工業普及員養成の2部門から構成されており、両部門においては別添のとおり種々の訓練及び関連事業を実施する。

総額約40億円に達する日本政府の援助は、機械供与及び建物建築のための無償資金協力並びに専門家の派遣、日本における研修員受入れ等からなる技術協力の2形態により実施される。

討議議事録は、日本の技術協力の枠組みを決定するものであり、無償資金協力の内容については近いうちに正式に決定される予定である。

日・「イ」両国間の協力により、同センターは、1985年4月には本格的な活動を開始する予定である。

同センターは、技能労働者の供給及び小規模工業の振興というインドネシアにとって緊急の課題に応えるとともに、日・「イ」両国間並びに日本及びASEAN各国間の緊密な関係をさらに深めることに寄与することが期待されている。

別 添

## CEVEST の 活 動

### 1. 職業訓練部門

#### (1) 訓練事業（訓練コース）

- a. 指導員養成訓練タイプⅠ（2年訓練）
- b. 指導員養成訓練タイプⅡ（4月訓練）
- c. 指導員向上・再訓練
- d. 職業訓練校長訓練
- e. 事業内指導員訓練

（注） 上記コース a 及び c は、機械、溶接、板金・配管、自動車修理、電気・冷凍空調、電子の6職種について実施される。

#### (2) 研究開発事業（分野）

- a. 訓練技法・カリキュラム・プログラム
- b. 訓練教材
- c. 技能評価・検定
- d. 基礎研究

### 2. 小規模工業普及員養成部門

#### (1) 研修事業（訓練コース）

- a. T P L（経営・技術改善指導員）一般コース
- b. T P L 上級コース
- c. 訓練指導員コース
- d. 企業家コース
- e. 政府職員コース

#### (2) 調査・研究開発事業

- a. 小規模工業に関する統計調査
- b. " " 生産実態調査
- c. " " 市場構造調査
- d. " " 消費動向調査

#### (3) 指導相談事業

- a. 企業診断
- b. セミナー、シンポジウム開催

- c. 指導マニュアル作成
- d. 相談指導
- e. 下請企業振興





JICA